

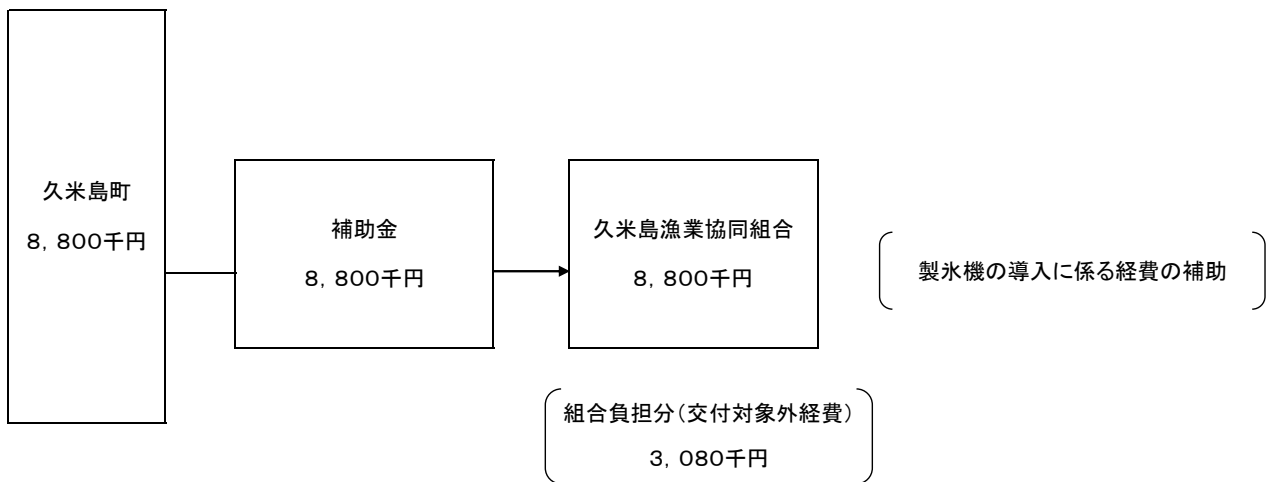
市町村名		久米島町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	漁港施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興	
事業内容	本町の基幹産業である水産業の漁獲単価の向上を図るため、主要漁港の鮮度保持施設に製氷機の整備を行う団体へ支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	7,192	25,617	6,031	17,024	9,600
	(b) 予算現額	14,392	25,785	6,031	16,448	9,600	
	(c) 増減額(b-a)	7,200	168	0	▲ 576	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	14,392	25,785	6,031	16,448	9,600	
	B. 執行済額	12,807	25,785	5,909	16,448	8,800	
	うち交付金充当額	10,245	20,628	4,727	13,158	7,040	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	89.0%	100.0%	98.0%	100.0%	91.7%	
予算の状況の説明	不用額800千円については、入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	漁船巻上機の導入	目標	( 2基 )	( 1基 )	( 3基 )	( )	
		実績	2基	1基	3基		
	製氷機の導入	目標	( )	( )	( )	( 1式 )	
		実績				1式	
達成状況説明	仲里漁港真泊地区の鮮度保持施設の製氷機を整備したことにより、施設の能力が向上し、乾燥氷の使用による氷の耐久性及び鮮度保持の向上と積み込み作業の円滑化、一斉出漁等、漁業生産高及び漁業経営の向上が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
		目標	( )	( 50% )	( 80% )	( )	( )
	巻上機整備率(全体10基)	実績		50%	80%		
		目標	( )	( )	( )	( 646円/kg以上 )	( )
	漁獲単価	実績				815円/kg	
		進捗状況説明	施設の機能低下によって漁業生産活動に影響を及ぼしている状況であったが、鮮度保持施設の製氷機を整備したことにより氷の耐久性及び鮮度保持の向上と積み込み作業の円滑化が図られ、漁獲単価の向上につながった。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁船操業への迅速な対応と増加傾向にある利用漁船の大型化への対応に課題がある。中でも、荒天時(台風等)に漁船を非難させる際の労働負担や経費負担が課題である。</li> <li>・効率的な水産物の水揚げ作業、漁獲規模の拡大に向けては、港内荷さばき(所)の労働負担等に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者の利便性向上を図るとともに、増加傾向にある大型漁船に対応した巻上機を設置し、漁港施設の機能強化を図る必要がある。</li> <li>・荷さばき所は、衛生管理及び軽労働化に資する機材を導入し、運搬機能の強化を図る必要がある。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型漁船の導入状況や設備導入に係る費用負担を考慮し、計画的に巻上機を整備する。</li> <li>・荷さばき所へのフォークリフト導入については、漁獲量等を考慮し計画的に導入する。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,880	8,800	7,040	1,760	3,080



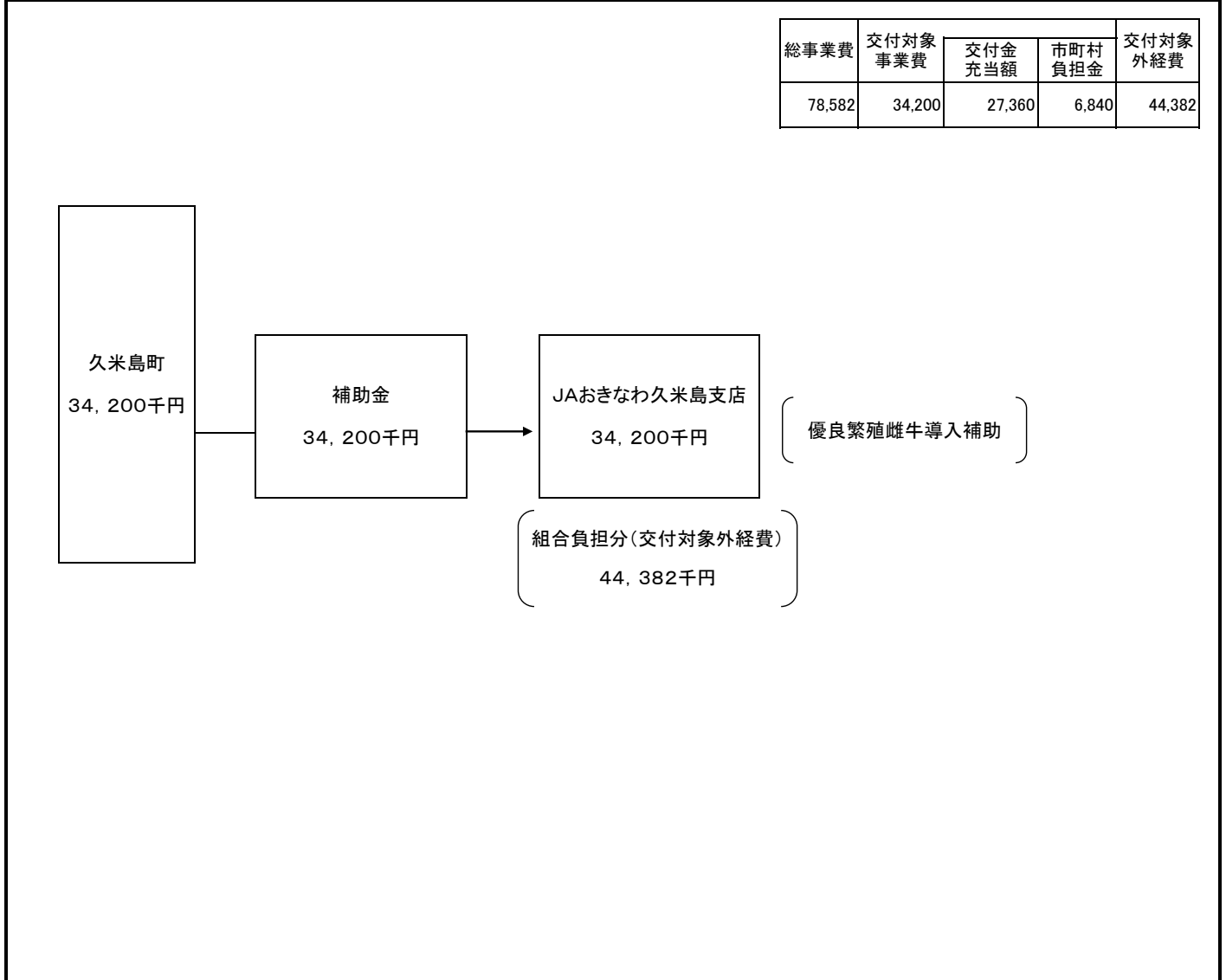
資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である漁協は、漁業者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は漁業振興を図る上で必要な装備であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である漁協は総事業費の約2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	久米島町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	優良雌牛導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
事業内容	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し、「くめじま牛」のブランド化を図り、畜産振興につなげると同時に生産農家の所得向上を安定させるため、優良繁殖雌牛の導入事業を行う団体へ支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		8,100	16,200	27,000	34,200	34,200
			8,100	25,237	34,200	34,200	34,200
			0	9,037	7,200	0	0
			0	0	0	0	0
			8,100	25,237	34,200	34,200	34,200
	B. 執行済額		7,947	25,237	33,320	32,041	34,200
	うち交付金充当額		6,357	20,189	26,656	25,632	27,360
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.1%	100.0%	97.4%	93.7%	100.0%
予算の状況の説明		平成30年度の優良雌牛導入頭数を80頭とし、当初予算においては前年度と同額の34,200千円を計上し、事業を執行した。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	優良雌牛導入	目標	( 54頭 )	( 70頭 )	( 80頭 )	( 80頭 )	
		実績	68頭	75頭	74頭	81頭	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
	実績						
達成状況説明	平成30年度において優良繁殖雌牛の導入を行った。事業実施を年度の早い時期に開始し、目標の80頭に対し81頭導入することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	優良雌牛導入率 ※H33までの導入頭数(累計):510頭	目標	(      )	( 32% )	( 49.6% )	( 62% )	( 510頭 )
		実績		34%	48%	64%	
	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合	目標	(      )	(      )	(      )	( 110%以上 )	(      )
		実績				107%	
進捗状況説明	<b>【優良雌牛導入率】</b> 事業実施を年度の早い時期に開始し、円滑に事業を執行した結果、導入率実績が目標値を上回る64%(H30までの累計:328頭)となった。 <b>【導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合】</b> 優良雌牛から生まれた子牛の平均価格712,863円、そうでない牛から生まれた子牛の平均価格667,632円となっており、目標値110%を3%下回る107%となった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内外からの導入に際し、要綱に反する月齢オーバーが判明した。早急にJAを交えて緊急会議を開催し、導入した農家への説明を行った。月齢オーバーした導入牛については、補助対象外とし、他セリで購入した牛と入れ換えを行った。</li> <li>導入した繁殖雌牛については、分娩間隔の短縮等、飼養管理を徹底することで、母牛の増頭を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も早期に事業を実施し、円滑に事業執行に取り組んでいく。また、左記の課題に対し、要綱に遵守するようJA及び農家へ周知、事業説明を行う。</li> <li>優良繁殖雌牛を増頭するには的確な種付けが必要であり、そのためには導入牛の発情のタイミングを見逃さないよう飼養管理を徹底する。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な事業執行に取り組んでいく中で要綱の再認識、事業説明会での周知の徹底、JAや和牛改良組合等の関係機関と連携を密にし、導入時には細心の注意を払う。</li> <li>導入後については農家へ飼養管理など営農指導を行ない、母牛の増頭を促進する。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は沖縄県農業協同組合であり、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は0円であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は沖縄県農業協同組合久米島支店であり、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	久米島町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	モズク加工場機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)イ		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興		
事業内容	モズク生産者の所得を向上させ、経営安定化を図るため、モズク加工場の塩蔵加工設備を整備する団体へ支援を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( 31年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,428		8,456		23,272
		(b)予算現額	3,888		8,456		23,272
		(c)増減額(b-a)	▲540		0		0
		(d)繰越額	0		0		0
		A.計(b+d)	3,888		8,456		23,272
	B.執行済額		3,888		8,240		23,200
	うち交付金充当額		3,110		6,592		18,560
	次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		100.0%		97.4%		99.7%
予算の状況の説明		不用額72千円については、入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	冷凍設備設置	目標	( )	( 一式 )	( )	( )	
		実績		一式			
	モズク加工場の塩蔵加工施設の整備	目標	( )	( )	( )	( 塩蔵加工施設の整備 )	
実績					整備完了		
達成状況説明	仲里漁港真泊地区のモズク加工場の塩蔵加工ライン増設及び塩蔵タンクを整備したことにより、加工処理能力が向上し、水揚制限や搬入停止等モズクの受け入れの改善、加工ラインへの不安解消が図られ、生産性の向上、安定供給につながり、安定経営が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R1年度)
	生産性の向上と品質管理の確立(冷凍生モズク生産量)	目標	( )	( 150 t )	( )	( )	( )
		実績		200 t			
	【R1成果目標】モズク生産者一人当たりの養殖本モズク(時期物)生産による所得	目標	( )	( )	( )	( )	( 820万円 )
		実績					
進捗状況説明	加工処理は水揚げから塩蔵まで多大な時間を要する傾向にあり、現加工場の機能では増産するモズクの加工に対応できない状況であったが、塩蔵加工ラインの増設及び塩蔵タンクを整備したことにより生産性の向上、安定供給につながった。						

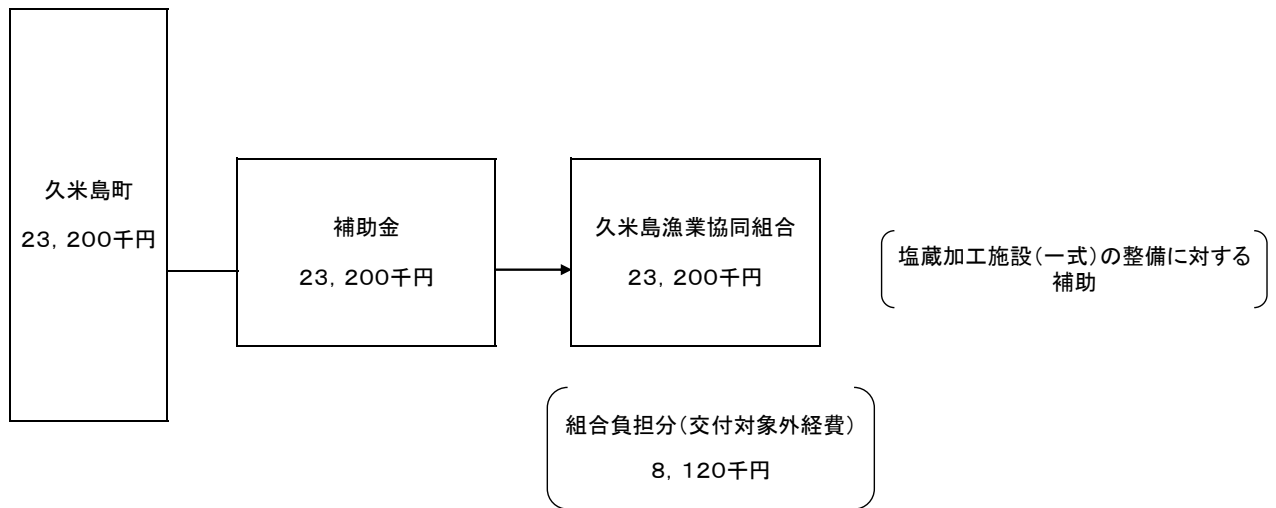
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	モズク養殖漁業者の新規参入により、モズク生産量の大幅な増加が見込めるが、生産施設が手狭となり、生産量の収束、作業効率の低下が予想される。	生産施設の計画的な設備導入、再整備を行う必要がある。 (作業の効率化を図るため、運搬機能の強化を図る必要がある。)

**今後の取り組み方針**

R1年度でモズク加工工場へフォークリフトを設置し、生産量増加に対応できる体制を整える。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
31,320	23,200	18,560	4,640	8,120



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である漁協は、漁業者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は漁業振興を図る上で必要な装備であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である漁協は総事業費の約2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		久米島町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	久米島紬販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化	
事業内容	久米島紬の付加価値を高め販路拡大し、売上増加を図るため、消費者ニーズに即した販売会や問屋呉服店への販即訪問等を行う団体へ支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	10,220	4,194	1,530	2,500	2,579
	(b) 予算現額	10,386	2,500	1,530	2,500	2,579	
	(c) 増減額(b-a)	166	▲1,694	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	10,386	2,500	1,530	2,500	2,579	
	B. 執行済額	9,167	1,868	1,068	1,797	1,810	
	うち交付金充当額	7,334	1,494	854	1,437	1,448	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	88.3%	74.7%	69.8%	71.9%	70.2%	
予算の状況の説明	・不用額769千円については、旅費の減額(展示会主催者から旅費支給があった)によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	島内・外での展示会参加数	目標	( 5回 )	( 8回 )	( 8回 )	( 8回 )	
		実績	8回	7回	8回	6回	
	新商品試作品作成	目標	(            )	(            )	( 6反 )	( 6反 )	
		実績			6反	6反	
達成状況説明	・本年は展示会参加を8回(県内3回、県外5回)予定していたが、生産反数が確保できず、6回(県内3回、県外3回)となった。 ・新商品については、目標どおり6反(6点)制作することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
		反物売上額	(            )	( 7,700万円 )	( 7,750万円 )	( 6,355万円 )	(            )
	実績		6,000万円	6,430万円	6,017万円		
	小物売上額	目標	(            )	( 1,500万円 )	( 1,650万円 )	( 1,489万円 )	(            )
		実績		1,700万円	1,610万円	1,542万円	
	進捗状況説明	・売上額は展示販売会、物産展、商品開発を含めた額を計上している。 ・反物については、生産反数を確保できず目標に届かなかったが、直接消費者個人への販売が増えてきており、粗利率は増加傾向にある。 ・小物については昨年度に続き展示販売会等での売れ行きが好調であり、目標を上回ることができた。					

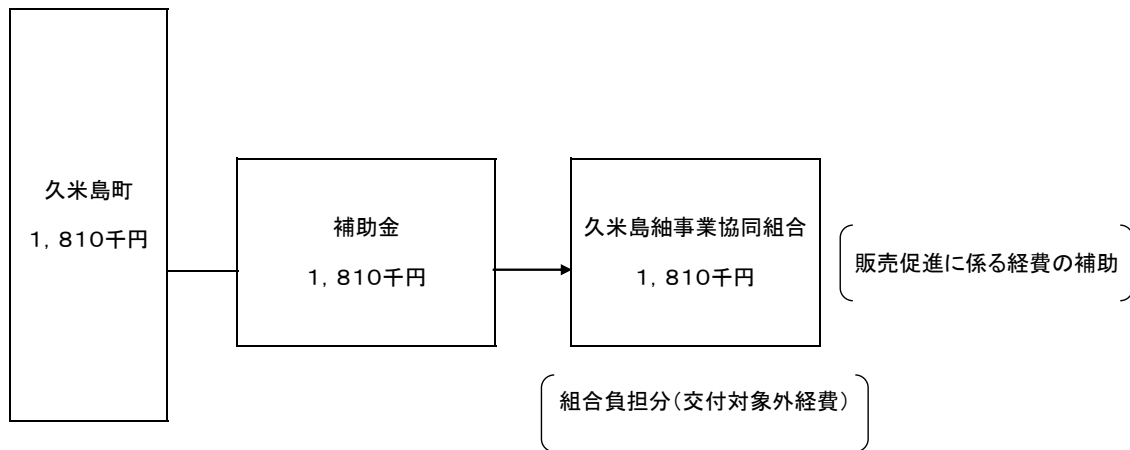
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①生産反数が確保できなかったことにより、予定していた展示会の参加数及び反物売上の目標を下回った。 ②反物等の切れ端が少なく、小物の生産数も伸び悩んでいる。	①反物を各年度ごと計画的に生産し、高まる需要に対応できる体制を整える必要がある。 ②小物の売上を伸ばすためにも、反物生産数を引き延ばす取組が必要。

**今後の取り組み方針**

反物生産において、各年度ごとの目標を設定し、織子の技量に合わせた発注、技量向上を図る講習の実施等、計画的な生産体制の構築を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,011	1,810	1,448	362	201

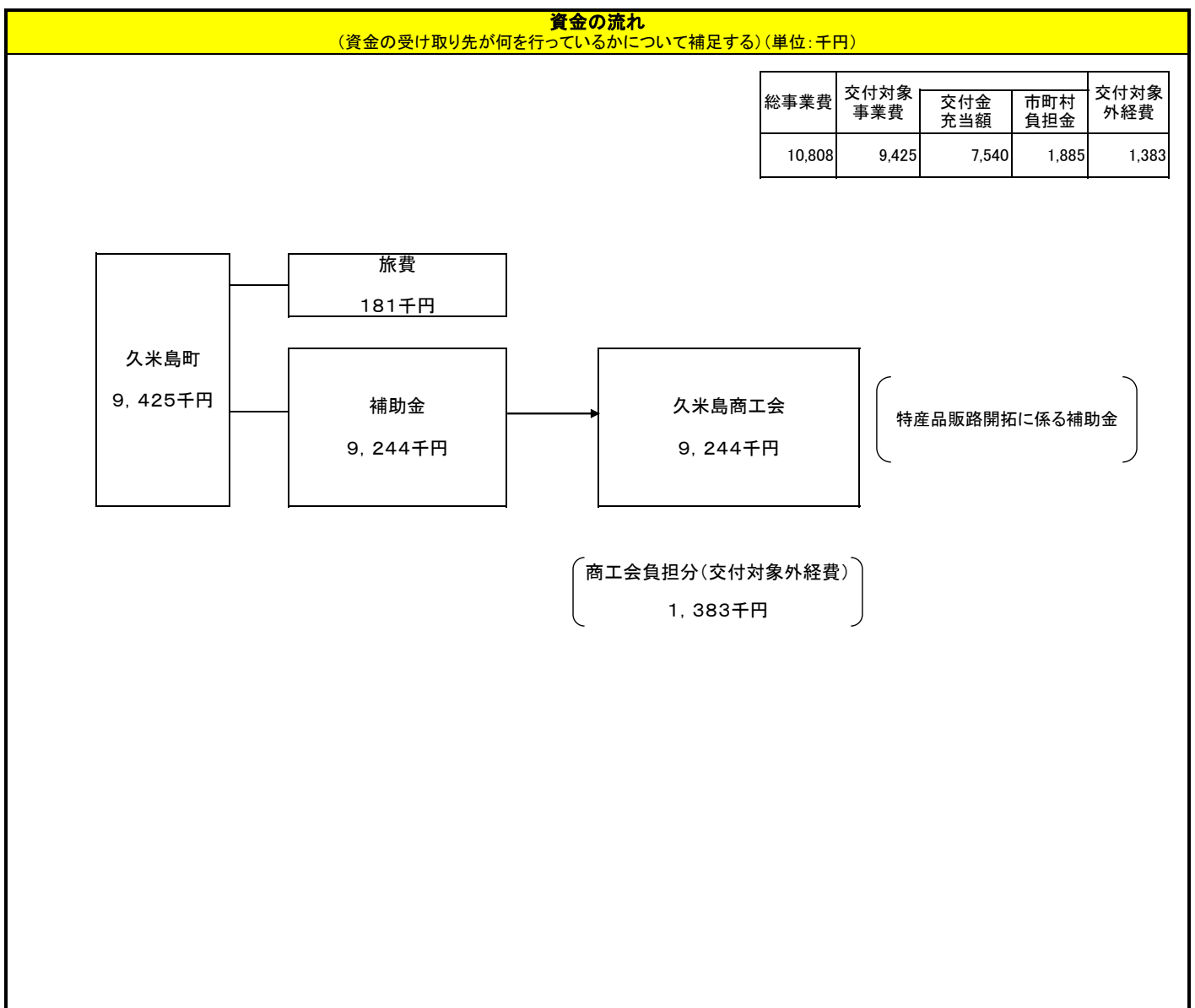


資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である紬組合は、紬製造従事者により組織され、実績及び知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は久米島紬の振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。 ○受益者である紬組合は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目、使途については清算時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		久米島町				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-②	久米島特産品販路開拓事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ウ 特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(4)
事業内容	島産品の売上増加を図るため、県内外で開催される物産展へ出展する事業所を支援する。また、島の特産品パンフレットを作成し、物産展で配布する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	42,000	11,543	22,083	11,090
	(b) 予算現額	36,338	20,103	8,875	9,319	10,229
	(c) 増減額(b-a)	▲ 5,662	8,560	▲ 13,208	▲ 1,771	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	36,338	20,103	8,875	9,319	10,229
	B. 執行済額	35,096	19,212	8,825	7,986	9,425
	うち交付金充当額	28,076	15,369	7,060	6,388	7,540
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	96.6%	95.6%	99.4%	85.7%	92.1%
予算の状況の説明	・予定していた催事の中止、展示会への参加回数が減ったことにより804千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	県内・外での展示会参加	目標	( 10回 )	( 10回 )	( 8回 )	( 8回 )
		実績	7回	6回	6回	6回
特産品パンフレット作成	目標	( )	( )	( 10,000部 )	( 10,000部 )	
	実績			10,000部	7,000部	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内イベント(とまりんフェスタ)が中止となったことと、予定していた県外展示会に参加できなかったため、目標を達成することができなかった。</li> <li>・今回は県外(仙台市)にて久米島ビジネスマッチングを開催。商談会や久米島特産品を使用したメニューの提供を行うことで、販路拡大及び特産品のPRに寄与できた(成約件数は1件)。</li> <li>・特産品パンフレットについては、海外からの観光客の大半を占めるのが中国であるため、中国語の翻訳を追加したため、コストがかかり作成部数が減となった。</li> </ul>					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
		目標	( )	( 26,480千円 )	( 33,000千円 )	( 2,844千円 )
	実績		25,600千円	25,866千円	29,308千円	
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )
実績						
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物産展における販売額は、目標及び前年実績を上回る結果となった。特に県内イベント「久米島町の観光・物産と芸能フェア」での売り上げが好調で、来場者数、販売額ともに昨年度を上回った。</li> </ul>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会(物産展)への参加回数は目標に達することができなかったが、販売額は増となっており、これまで県内外の展示会(物産展)に参加してきたことの、一定の効果が表れていると思われる。</li> <li>・物産展では飲食の部にて、商品が売り切れてしまうこともあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物産展での販売額は増加傾向であるので、売上から消費者のニーズを分析し、更なる販売促進に繋がるよう取り組んでいく。</li> <li>・展示会(物産展)の開催時期や場所を検証し出展することで、効果的に販路開拓・販売促進を行っていく。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き県内外で開催される展示会(物産展)の開催及び参加について、事業所への支援を行い、販売額の目標達成に向けて取り組んでいく。</li> <li>・過去に開発した商品はSNS等で情報発信しており、今後も各情報ツールを活用した取り組みを行うことで更なる販路拡大を目指す。</li> </ul>		



資金の流れ、費目、 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は商工事業者によって組織され、実績、知識等を勘案した上で選定しており打倒であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は特産品販売開拓等に必要経費であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である商工会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断して妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については清算段階で検査しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

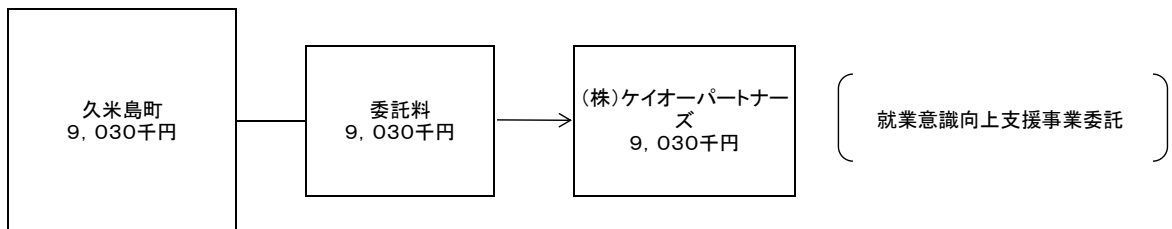
市町村名	久米島町						
<b>平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	2-③	地域型就業意識向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)イ		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の雇用促進		
事業内容	児童生徒に早い段階から「働くこと」への意識づけを行い、将来の夢や目標に向けた就業意識向上を図り、地域に貢献できる人材の育成を目指す。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	9,030				
		(b) 予算現額	9,030				
	(c) 増減額(b-a)	0					
	(d) 繰越額	0					
	A. 計(b+d)	9,030					
	B. 執行済額	9,030					
	うち交付金充当額	7,224					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
	予算の状況の説明	事業目標および活動目標の達成状況を鑑み、適正であったと考える。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	
	①ジョブシャドウイングの実施	目標	(ジョブシャドウイングの実施)	( )	( )	( )	
		実績	実施				
	②中学生職場体験実施・支援	目標	(職場体験実施・支援)	( )	( )	( )	
		実績	実施				
	③久米島高校との連携(インターンシップ・進路公演会・合同企業説明会等)	目標	(久米島高校との連携)	( )	( )	( )	
		実績	実施				
	④職業体験型イベント「わくわくワーク」の開催	目標	(職業体験型イベントの開催)	( )	( )	( )	
		実績	実施				
⑤「リーダー育成プログラム」	目標	(リーダー育成プログラム)	( )	( )	( )		
	実績	実施					
⑥小中学校教員向け研修会	目標	(小中学校教員向け研修会)	( )	( )	( )		
	実績	未実施					
⑦協議会の開催	目標	(協議会の開催)	( )	( )	( )		
	実績	実施					
達成状況説明	・小中学校教員向け研修会は開催できなかったが、他事業は計画通り執行できた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	H31年度	H32年度	目標値(年度)	
	参加した児童生徒へのアンケート就業に対する意識が向上したと回答した割合	目標	( )	(80%以上)	( )	( )	( )
		実績		小中高平均86.6%			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績							
進捗状況説明	・事後アンケートによる結果は、ジョブシャドウイング(小学校)96%、職場体験(中学校)75%、インターンシップ(高校生)91%となった。職場体験は75%となったが、元々職業に対して良いイメージを持っている生徒は20%となっている。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①今年度から町独自の事業に移行したため事業開始が5月からとなり、ジョブシャドウイングにおいて、事業の目的等を十分に保護者へ説明できず実施にいたった。また、職場体験において、事業所への受入調整等が学校側からも行われ、緊急連絡先が一本化されていないことで混乱を招いてしまった。</p> <p>②リーダー育成プログラムとして島の魅力を再発見する取組を実施したが、初年度ということから取組モデル構築を目指し、海洋深層水を通して島の産業を伝える取組を実施したが、他の産業を伝えることが出来なかった。</p>	<p>①校長会での周知の徹底、各学校との役割分担や情報共有の頻度をあげ、連携強化を図る必要がある。</p> <p>②海洋深層水以外の産業についても理解を深め、総合的に島の産業を考える取組が必要である。</p>

今後の取り組み方針
<p>①今年度の取組から学んだ各学校と事務局との役割を明確にし、分担していく上で年間スケジュールの共有など強化した連携体制を構築する。</p> <p>②久米島の産業の総合的な理解に向けて、様々な産業の各事業所と連携を図り取り組んでいく。今後の久米島町での新たな産業創出のため、島外へ出て他地域の地域振興、産業の取組を知り、本町との相違、共通点から考える島外視察や体験学習、さらに学んだことを島内外に発信する機会の構築も図る。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,030	9,030	7,224	1,806	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザルにて選定しており妥当であると考えます。</p> <p>○不用額はなく適正な予算規模であった。</p> <p>○事業内容から判断しても妥当であった。</p> <p>費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	久米島観光誘客支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ア	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	観光誘客を図るため、島の魅力を活かした広報活動や、各種イベントを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	17,184	6,034	16,963	13,391	12,030
	(b) 予算現額	17,184	14,246	16,563	11,391	9,041	
	(c) 増減額(b-a)	0	8,212	▲ 400	▲ 2,000	▲ 2,989	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	17,184	14,246	16,563	11,391	9,041	
	B. 執行済額	11,668	13,363	16,265	9,883	7,517	
	うち交付金充当額	9,334	10,690	13,011	7,906	6,013	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	67.9%	93.8%	98.2%	86.8%	83.1%	
予算の状況の説明	当初計画していたイベントが台風の影響により中止となったため、2,989千円の減額を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	イベント開催	目標	( 3件 )	( 3件 )	( 2件 )	( 1件 )	
		実績	3件	3件	2件	1件	
	広報推進事業 広報活動	目標	( 7件 )	( 7件 )	( 5件 )	( 11件 )	
		実績	4件	7件	8件	7件	
観光案内人配置	目標	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )	( 3名 )		
	実績	2名	7名	5名	3名		
達成状況説明	(イベント開催) イベント開催を2件予定していたが、台風の影響により1件が中止となり、成果目標をイベント開催1件に修正した。予定していたのんびりウォークについては、計画どおり実施することが出来た。 (広報推進事業 広報活動) 県内外のイベント7件に参加することができ、久米島観光のPRを行った。4件のイベントは開催の中止や、出展料を工面する事が出来ず不参加となった。 (観光案内人配置) 久米島空港に観光案内人を3人に配置し、島に訪れる観光客等に対し観光案内を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
		目標	( )	( 920人 )	( 609名 )	( 394人 )	( )
	実績		877人	579人	201人		
	入域観光客数	目標	( )	( 105,000人 )	( 112,000人 )	( 123,000人 )	( )
		実績		111,509人	109,742人	103,309人	
進捗状況説明	(イベント参加人数) 物産展や観光ブース等でPRを行ったが参加人数が減になった。 (入域観光客数) イベント開催や、久米島観光のPRを行ったが目標に届かなかった。						

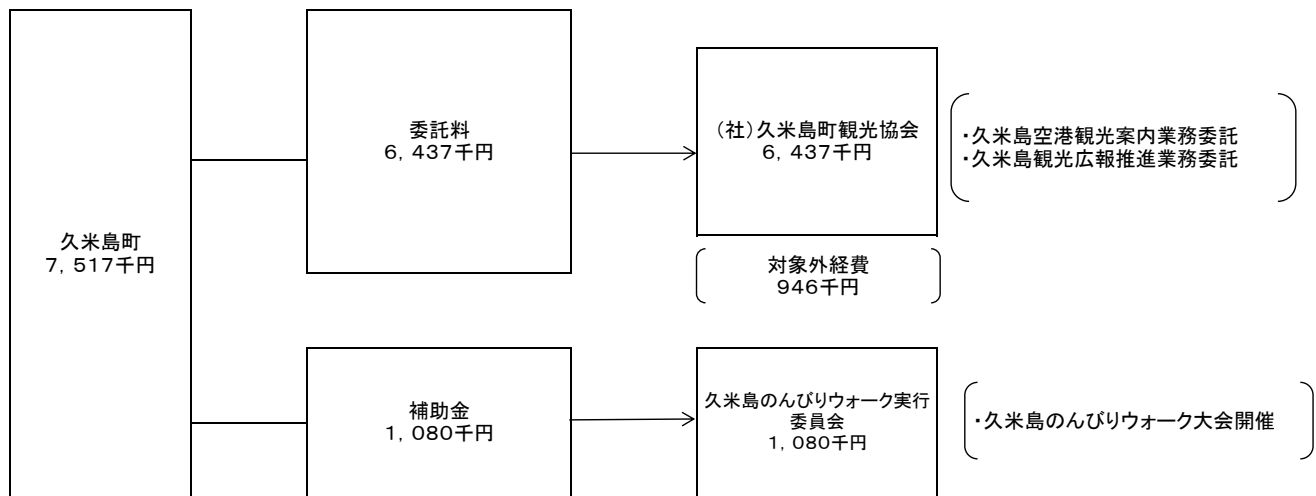
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(イベント) ・参加者への募集案内が遅くなったことが参加人数が減った要因と考えられる。 (入域観光客数) ・県内外のイベントで観光PRを行っているが、観光入域数が落ち込んでいる。 ・閑散期の入域数が少ない事が要因と考えられる。	(イベント) ・募集案内を早めに行うことで、参加人数増加に繋げる。 (入域観光客数) ・観光入域数増加に繋がるようなイベントを選び、効果的な観光PRを行う。 ・閑散期の誘客を図り、平準化した観光入域を目指す。

**今後の取り組み方針**

(イベント) ・各関係機関と連携を密に取り合い、早めに取り組む事で、開催日や募集を早めに行い、集客できるように取り組む。 (入域観光客数) ・閑散期に来島を促すような、観光PRを行う。 ・誘客効果の高いイベントに参加し、広報活動を行う。
--

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,463	7,517	6,013	1,504	946



資金の流 れ、費 用、 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は実績を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は観光誘客に必要な経費であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は総事業費の2割を負担しており、事業内容から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	久米島町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	久米島観光プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)イ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開	
事業内容	観光誘客を図るため、大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	H26年度(繰越)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(b) 予算現額	—	26,244	28,244	25,380	32,994
		(c) 増減額(b-a)	—	▲ 2,484	0	0	▲ 5,807
		(d) 繰越額	1,739	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	1,739	23,760	28,244	25,380	27,187
	B. 執行済額	1,739	23,112	28,134	25,380	27,187	
	うち交付金充当額	1,390	18,489	22,507	20,304	21,749	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	97.3%	99.6%	100.0%	100.0%	
	予算の状況の説明	・5,807千円は、必要経費を見直したことによる委託料の減である。 ・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	メディアミックスプロモーション	目標	(      )	( 1社 )	( 2社 )	( 2社 )	
		実績		2社	2社	2社	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
実績							
達成状況説明	・WEB特集記事では、動画を活用した「2つの久米島」「久米島ぬちぐすいな旅へ」において久米島の魅力を発信する特集ページを制作し情報発信した。 ・テレビ番組は久米島の認知度向上に向け、「世界さまぁ〜リゾート」「昼めし旅」の2本を放映した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	wo	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	入域観光客数	目標	(      )	(      )	(      )	( 123,000人 )	(      )
		実績				103,309人	
	【参考指標】	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
実績							
進捗状況説明	・閑散期の入域数を伸ばす事が出来ず、観光入域数は落ち込む結果となった。						

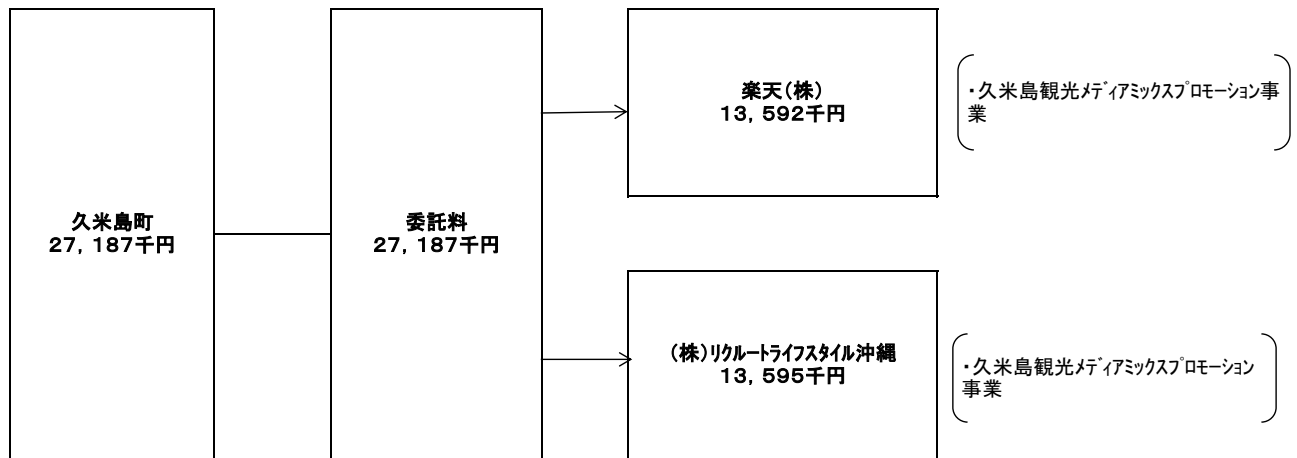
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・WEB、TV、雑誌、モノレール広告等の媒体を活用し、プロモーションを行っているが、入域観光客数が落ち込んでいる。	・来訪未経験者への認知度向上をさせるためにプロモーション。リピーターに対するプロモーションとターゲットに応じた誘客・プロモーションを行うことで、入域観光客数の増加に繋げる。

**今後の取り組み方針**

- ・第2次久米島町観光振興計画に基づき、新規顧客・リピーターそれぞれをターゲットとした効果的な情報発信、プロモーションを行う。
- ・来訪未経験者等の久米島の新規顧客に向けて、沖縄県全体の誘客・プロモーションとの連携を図る。
- ・久米島に何度も訪れている観光客(リピーター)に対して、島内の新たな魅力や観光プログラム等の情報を発信する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,187	27,187	21,749	5,438	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は観光振興に必要な額であり、適正な規模だった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点、精算時において支出等に関する書類による確認し、必要であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



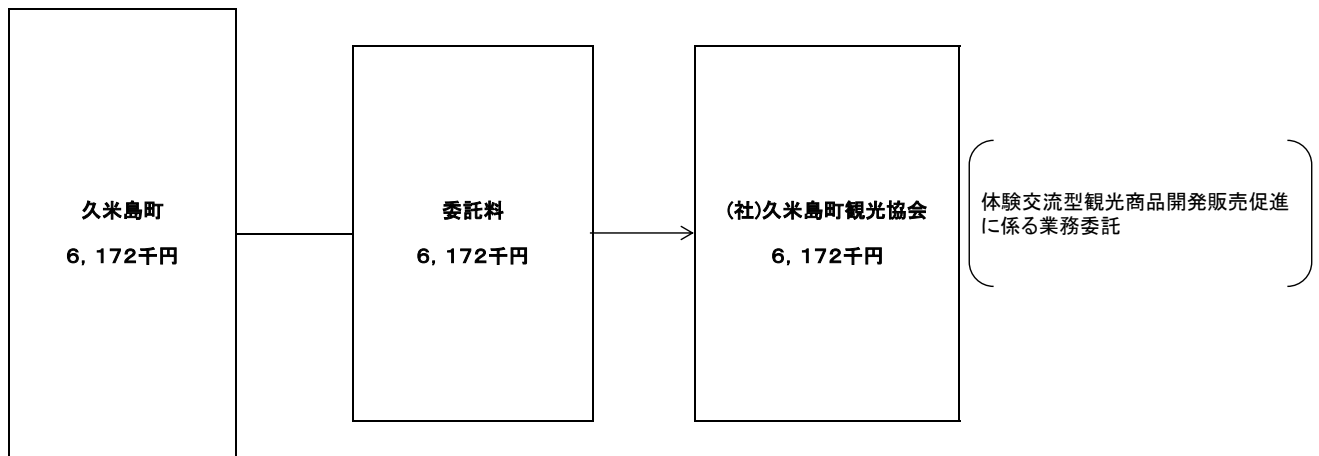
市町村名		久米島町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	体験交流型観光商品開発販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ア	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26～令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	本町の観光入域客数を増加させ観光産業の振興を図るため、修学旅行受入促進のための旅行商品の開発、販売促進事業を実施する団体へ支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a)当初予算額	8,689	18,963	18,260	10,101	10,062
	(b)予算現額	8,689	18,963	17,947	9,038	8,537	
	(c)増減額(b-a)	0	0	▲313	▲1,063	▲1,525	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	8,689	18,963	17,947	9,038	8,537	
	B.執行済額	7,697	15,217	16,294	8,047	6,172	
	うち交付金充当額	6,158	12,173	13,035	6,437	4,937	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	88.6%	80.2%	90.8%	89.0%	72.3%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初計画した事業を計画的に実施できず、1,525千円を減額した。</li> <li>・見込んでいた修学旅行生数を誘致できず、修学旅行助成金が大幅に減となった。</li> </ul>						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	民泊事業の受入整備、強化	目標	(      )	(      )	(      )	( 受入整備、強化 )	
		実績				受入整備、強化	
	修学旅行の誘致	目標	(      )	(      )	(      )	( 修学旅行の誘致 )	
		実績				修学旅行の誘致	
体験プログラムの構築	目標	(      )	(      )	(      )	( 体験プログラムの構築 )		
	実績				体験プログラムの構築		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民泊事業では、民家向け説明会・勉強会を行い、受入整備・強化を図った。</li> <li>・修学旅行の誘致に関しては、計画通り県内、県外の学校・旅行社へ営業活動を行った。</li> <li>・体験プログラムの構築においては、文化歴史ツアーがプログラムとしてないため、ガイド養成講座を開催し、文化ツアーのプログラム構築を図った。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
	民泊事業者数	目標	(      )	(      )	(      )	( 38戸以上 )	(      )
		実績				43戸	
	修学旅行の受入学校数	目標	(      )	(      )	( 10校以上 )	( 11校以上 )	(      )
		実績			7校	7校	
体験プログラム利用者数	目標	(      )	( 1,450人 )	( 1,500人 )	( 1,823人以上 )	(      )	
	実績		1,464人	1,506人	1,759人		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民泊事業者は、5軒の新規民泊開始民家が加わり43戸となり、目標を達成することが出来た。</li> <li>・修学旅行の誘致活動を行っているが、受入学校数は7校で目標に届かなかった。</li> <li>・体験プログラム利用者数1,759人は、昨年度より253人増加したが、目標に届かなかった。</li> </ul>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(民泊受入) ・教育旅行民泊に関しては、5軒の新規民泊開始民家が加わったが、250名超の学校への対応は民家が不足し難しい。 (修学旅行受入) ・大規模校の修学旅行は、航空機の座席数の問題もあり、送客が難しい。 (体験プログラム) ・一般旅行者の利用が少ないのが目標未達成にの要因だと考えられる。	(民泊受入) ・新規民泊受入れ民家を増やし、受入人数増加に繋げる。 (修学旅行受入) ・令和元年7月に新造船が就航する予定であり、就航により移動時間が短縮され旅客定員が増加する。そのため、フェリーでの来島を提案しやすくなる。大規模校には、フェリーでの来島を提案し、修学旅行件数増加に繋げる。 (体験プログラム) ・一般旅行者への販売促進を行い、利用者増加に繋げる。

今後の取り組み方針
(民泊受入) ・教育旅行民家に関して、ホームビジットも含め、現受入れ民家の維持と勉強会・意見交換会を実施する。 (修学旅行受入) ・久米島へのアクセスで、航空機のサイズに合わせた小規模校又は私学行先選択制を取っている学校誘致を行う。 ・生徒数の多い公立学校へはフェリーでの時間の過ごし方、新造船就航に伴うプレミアム感を提案していく。 (体験プログラム) ・観光協会HPや、観光案内所の窓口を活用し、一般旅行者への販売促進を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,172	6,172	4,937	1,235	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は観光振興に必要な額であり、適正な規模だった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から、精算時において支出等に関する書類による確認し、必要であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
<b>平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-④	久米島町観光振興基本計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ア		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	観光産業の現況及び今後の動向を踏まえ、「第2次久米島町観光振興基本計画」を策定し観光誘客を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(31年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	16,200				
		(b)予算現額	16,200				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	16,200				
	B.執行済額		16,200				
	うち交付金充当額		12,960				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた観光振興基本計画の策定は完了しており、活動目標、成果目標の達成状況を鏡みて適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	
	基本計画の策定	目標	( 計画の策定 )	( )	( )	( )	
		実績	計画の策定完了				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	当初予定していた事業を計画通り行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	H31年度	H32年度	目標値(R1年度)
	観光振興基本計画に基づいた各種観光振興施策の実施	目標	( )	( )	( 施策の実施 )	( )	( )
		実績					
	【R1成果目標】 本事業で策定する基本計画を基に、観光振興を目的とした事業の実施につなげる。	目標	( )	( )	( )	( )	( 事業の実施 )
		実績					
進捗状況説明	観光関係のホテルや事業所等にヒヤリングやアンケートを実施することにより、課題を把握することができた。						

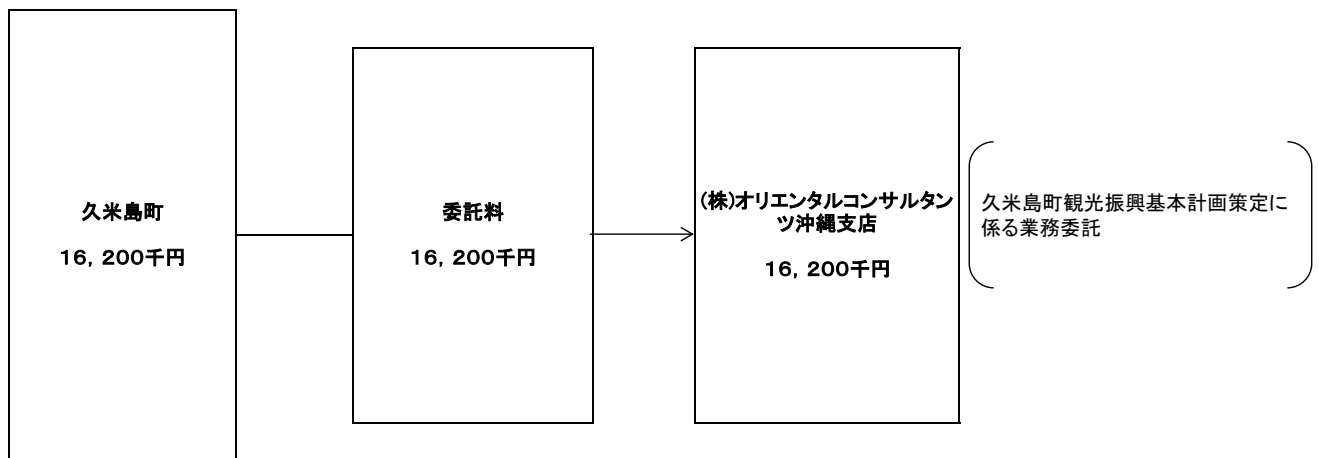
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(観光振興計画) 観光振興基本計画の策定を行い、活動目標を達成することができた。今後は策定した計画に基づいた観光施策の実施を行う。</p> <p>(観光入域客数) 観光入域客数は横ばいであり、観光客がピークである夏の時期以外の時期にいかに関光客数を伸ばせるかが課題。</p>	<p>(観光振興計画) 計画は作成できたのでこれから事業を実施し、観光入域客をどのように増やしていくか、関係機関と定期的に会議を持ち同じ目標で観光振興に取り組む。</p> <p>(観光入域客) 久米島最大の観光資源である海以外で雨天時でも対応できる観光資源の開発、情報の発信をおこなう。</p>

**今後の取り組み方針**

本計画をもとに具体的な事業の実施を行う。定期的なワーキング会議を持ち取組状況の確認、現在の課題把握に努め、観光入域客数目標達成のために課題をなくしていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

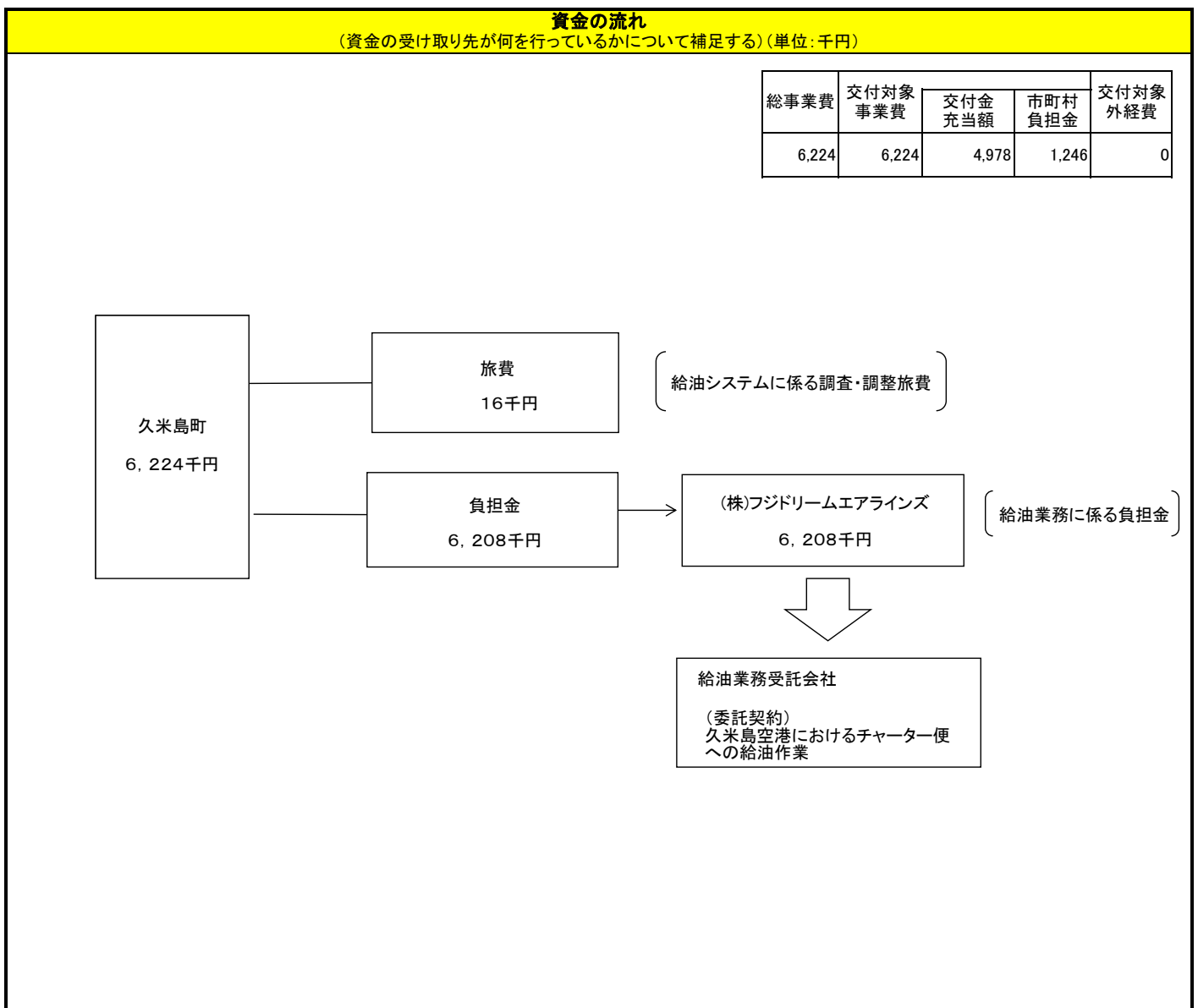
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
16,200	16,200	12,960	3,240	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、プロポーザル方式にて選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は目標を達成するために必要とされる適正なものとなっている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのかについて、額の確定時において支出に関する書類等により確認し適正であったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-⑤	航空路線拡充対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)ウ
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-1-(1)
事業内容	久米島への航空路線誘致を図るため、久米島空港における給油体制の整備及び航空会社への誘致活動を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	3,683	18,064	8,779	19,604
	(b) 予算現額	8,596	16,986	17,613	12,436	7,479
	(c) 増減額(b-a)	4,913	▲ 1,078	8,834	▲ 7,168	▲ 8,527
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	8,596	16,986	17,613	12,436	7,479
	B. 執行済額	8,596	16,449	16,762	11,947	6,224
	うち交付金充当額	6,877	13,159	13,409	9,557	4,978
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	96.8%	95.2%	96.1%	83.2%
予算の状況の説明	当初、40便で見込んでいた運行回数が26便の計画となったため、12月補正にて8,527千円減額した。新規チャーター便の調整旅費、歓迎セレモニーの未実施及び便数減による車両輸送費の減により、不用額1,255千円となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	チャーター便実現の為、久米島空港での給油を行う	目標	( 給油体制の整備 )	( 給油体制の整備 )	( 給油体制の整備 )	( 給油体制の整備 )
		実績	給油体制の整備	給油体制の整備	給油体制の整備	給油体制の整備
	新規航空会社の誘致及び誘致に係る調査及び活動を行う	目標	( 調査活動 )	( 調査活動 )	( 調査活動 )	( 調査活動 )
実績		4回	2回	1回	1回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>久米島空港には給油施設が無い為、チャーター便の誘致には給油体制を整える必要があり、給油車の賃借と燃料を調達し久米島空港にて配備した。</li> <li>新規航空会社の誘致活動及び調査活動を2回予定していたが、燃料供給施設調整の1回のみの実施となった。</li> </ul>					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
			目標	(      )	( 114便 )	( 60便 )
	実績		38便	29便	26便	
	【参考指標】	目標	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績				
進捗状況説明	<p>【チャーター便就航数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H31年2月15日～3月3日までの間、9地域(出雲、石見、岡山、山口宇部、富山、小松、仙台、静岡、松山)より26便が就航した。</li> <li>目標には届かなかったが、観光客の閑散期であるこの時期に1,028名の観光入域に寄与できた。</li> </ul> <p>【要請及び誘致活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誘致活動については、新規航空路線や安定的なチャーター便就航には燃料供給施設が必要であるため、燃料供給事業者(株式会社りゅうせき)を訪問し、今後について調整、意見交換を行った。</li> </ul>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>【チャーター便運航数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先のフジドリームエアラインズの機材繰りの調整がつかなかったこと及び乗務員の確保ができなかったことが要因であると考えられる。</li> </ul> <p>【要請及び調査活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線拡充には給油施設の整備が不可欠であるため。燃料供給施設の可能性について、調査等を行い燃料供給事業所との調整を行った。</li> </ul>	<p>【チャーター便運航数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は閑散期のみ就航であるが、就航時期の見直し等も含めて検討していく。観光誘客には一定の成果がでているため、今後も継続していく必要がある。</li> </ul> <p>【要請及び調査活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関、団体と綿密な連携を図るとともに、早期に要請、調査を実施する。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・委託先であるフジドリームエアラインズと協力し、旅行者への営業の強化、未就航の空港への販路開拓及び燃料供給施設の検討を図り、観光入域客数の増加につなげる。</p>		



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定については費用負担の覚書を交わし選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であった。</p> <p>○費目・使途においては、事業目的の観点から清算時に細かく精査しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑥	航空運賃コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光入域者数の増加による地域の活性化を図るため、割高な航空運賃を低減し、航空事業者に対しその差額を負担する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	
		(b) 予算現額	20,000				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,000				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	17,000				
		B. 執行済額	15,536				
		うち交付金充当額	12,428				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	91.4%				
		予算の状況の説明	台風等の自然災害の影響による欠航を考慮し、3月補正にて予算3,000千円を減額したものの、不用額1,464千円発生してしまつた。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	<b>H30活動目標(指標)</b>	達成状況					
			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	
		交流人口の航空運賃に対して補助を行う	目標	( 航空運賃の補助 )	(                    )	(                    )	(                    )
		※交流人口とは、島民以外の人で久米島町を訪れる人のこと。	実績	航空運賃の補助			
			目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
			実績				
達成状況説明	・計画通り、航空運賃の補助を実施することができ、旅客利用者数は35,115名であった。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	<b>H30成果目標(指標)</b>	基準値(年度)	H30年度	H31年度	H32年度	目標値(年度)	
		観光入域者数	目標	(                    ) ( 123,000人 )	(                    )	(                    )	(                    )
			実績	103,309人			
		【参考指標】	目標	(                    ) (                    )	(                    )	(                    )	(                    )
			実績				
		進捗状況説明	観光シーズンにおいて、台風等の自然災害により、空路・航路ともに欠航が相次いだこと、航空路欠航による大きなイベントの中止等を余儀なくされたため、観光入域者数が目標に達しなかった。				

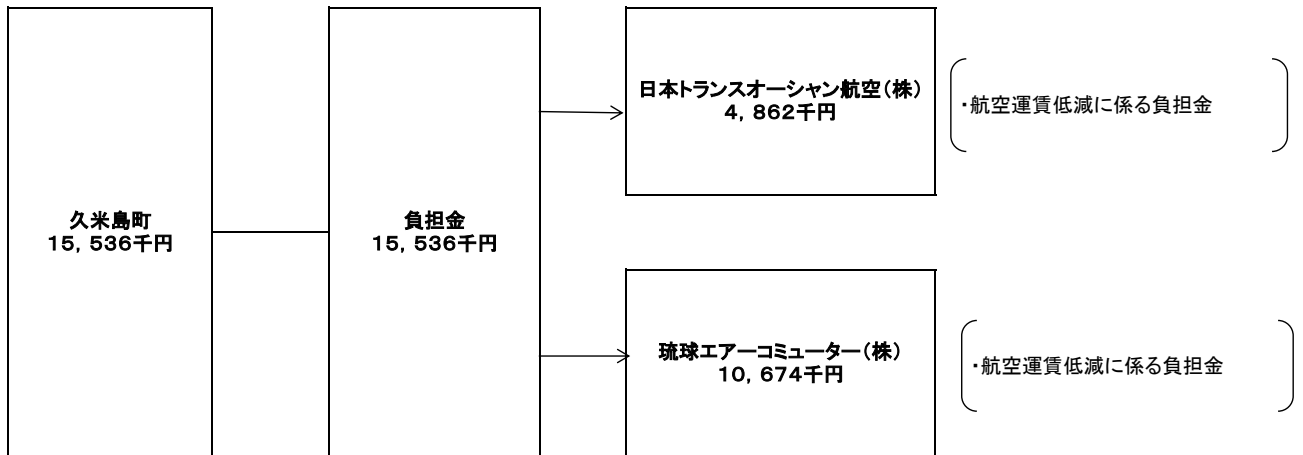
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	成果目標である観光入域者数は目的を達成できなかった。台風が少ない観光ボトム期に観光入域者数の引き上げを目指す必要がある。	観光入域者数の目標は達成できなかったが、空路による交流人口は昨年度より2.3%増加しており、空路の利用者数が増加傾向にあることから、事業の効果が表れていることが確認できる。観光ピーク期は現状の水準を維持し、観光ボトム期にいかに観光入域客数を増やすか検討が必要である。

**今後の取り組み方針**

平成30年度に「第2次久米島町観光振興基本計画」を策定し、最終年度の2023年度には観光入域客数を130,000人と目標を定めた。今後も本事業を継続し、観光入域者及び交流人口の増加を図ることで「第2次観光振興基本計画」の達成及び地域活性化を促進していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
15,536	15,536	12,428	3,108	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については久米島と沖縄本島を結ぶ航空会社2社であり、費用負担の協定書を締結し選定しており妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、使途については、事業目的の観点から清算時に精査しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

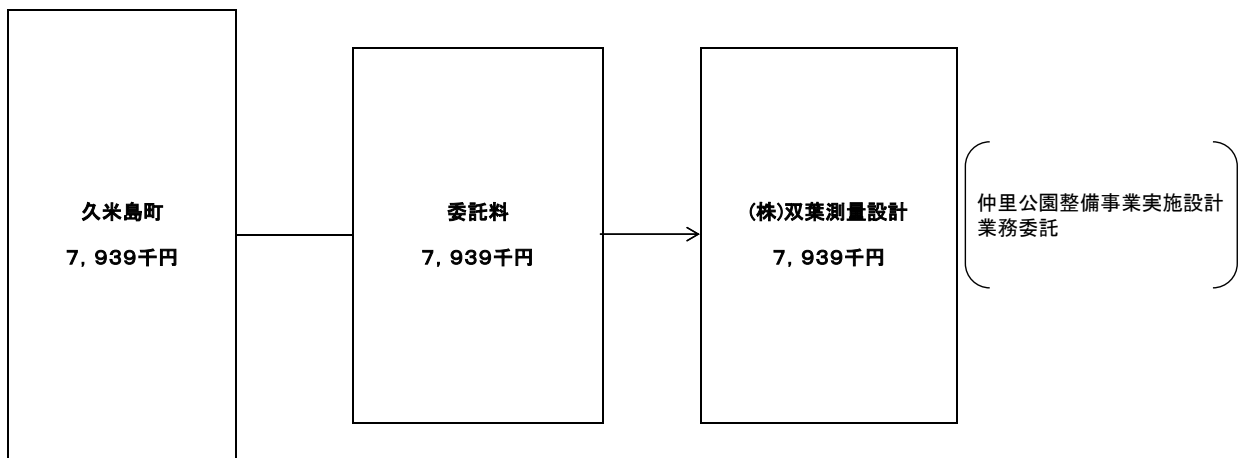


市町村名	久米島町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	子育て支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)イ		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9		
事業内容	子育て支援の充実を図るため、幼児から小学生が気軽に安心安全に遊べる施設を整備する。また、家族連れの観光客が安心して遊べる公園を整備することにより、観光地としての魅力アップを図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(33年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H30年度	H31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	42,064	-		6,416	
		(b)予算現額	65,274	-		7,940	
		(c)増減額(b-a)	23,210	-		1,524	
		(d)繰越額	0	38,880		0	
		A.計(b+d)	65,274	38,880		7,940	
	B.執行済額		26,281	38,880		7,939	
	うち交付金充当額		21,024	31,104		6,351	
	次年度繰越額		0	0		0	
	執行率(%) (B/A)		40.3%	100.0%		100.0%	
予算の状況の説明		沖縄県福祉のまちづくり条例の規定により、公園照明と誰でもトイレを設置することになったため、事業費1,524千円を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	
	実施設計の完了	目標	( 実施設計の完了 )	( )	( )	( )	
		実績	実施設計の完了				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	公園整備実施設計を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	H31年度	H32年度	目標値(R3年度)
	【R3成果目標】 施設の整備により利便性が確保されたかを含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	( 0% )	( )	( )	( )	( 80%以上 )
		実績					
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	仲里公園整備工事(複合遊具設置)完了後、利便性が確保されたかを含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本町の少子化要因の一つとして、安心・安全に遊べる公園が少ないことが課題として挙げられる。</p>	<p>・住宅地内に気軽に歩いて行けるような公園及び遊具を設置し提供することが必要である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・令和元年度に公園整備(造成)工事及び公衆用便所新築工事を行い、令和2年度に複合遊具設置工事及び公園整備(芝張り工)工事を行うことで、安心・安全に遊べる公園を整備し、子育て環境の充実を図る。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,939	7,939	6,351	1,588	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者・施工業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な予算規模であった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について確定時において支出の等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	久米島霊園整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)ア		
担当部課名	環境保全課	事業実施(予定)年度	平成30~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
事業内容	墓地の散在化抑制及び集約化を行い景観の保全を図るため、霊園施設を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( 33年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	4,500				
		(b)予算現額	4,500				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	4,500				
	B.執行済額		4,104				
	うち交付金充当額		3,283				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		91.2%				
予算の状況の説明		当初に計画した事業内容を全て実施したほか、事業目標および活動目標の達成状況を鑑み、適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	
	霊園整備基本計画の策定	目標	(基本計画の策定完了)	( )	( )	( )	
		実績	基本計画の策定完了				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	基本計画の策定を発注し、期限内に完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R3年度)
	【R3成果目標】 霊園施設利用世帯	目標	( - )	( )	( )	( )	( 16世帯以上 )
		実績					
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	【H33成果目標】 霊園施設利用世帯数16世帯を供用開始1年目の成果目標として設定し、事業の効果を検証する。					

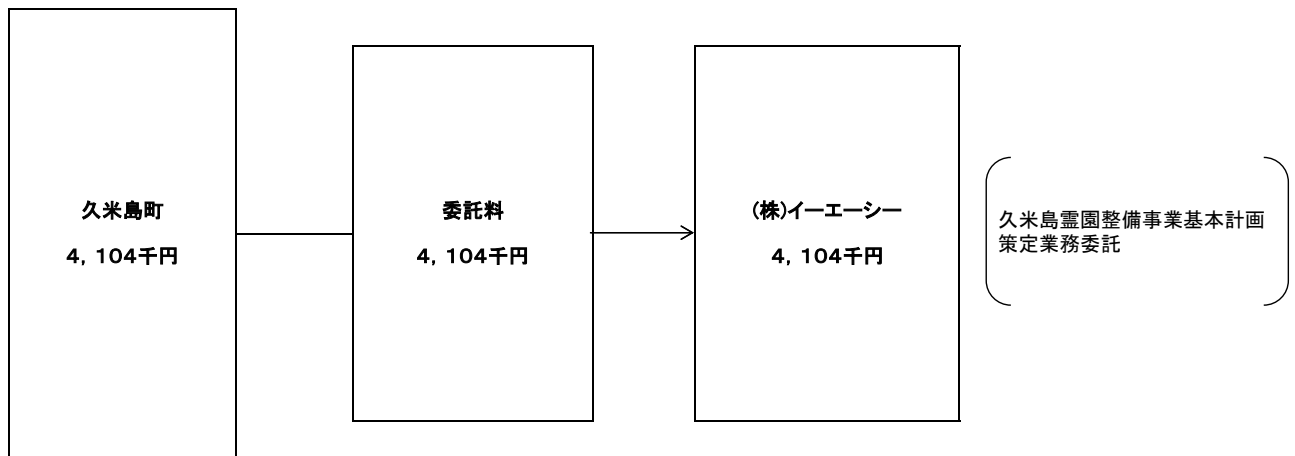
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定した基本計画のアンケート結果から、墓を所有している人で継承者がいない(未定)者が約半数となっており、町民の公営墓地需要は高く、墓地の整備・提供が喫緊の課題となっている。</li> <li>・墓地の散在化は生活環境や景観に悪影響を及ぼしており、公営墓地への移動誘導等の対策が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民が安心して利用できる墓地の確保・提供が必要である。</li> <li>・霊園を整備し、町民に広く利用してもらうためには、霊園整備への理解と利用を促す働きかけが必要である。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・納骨堂を整備することにより、個人墓の散在化抑制と整理を図る。  
 ・町民へ周知の案内や説明会等を開催するなどして、理解と利用の周知徹底を図っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

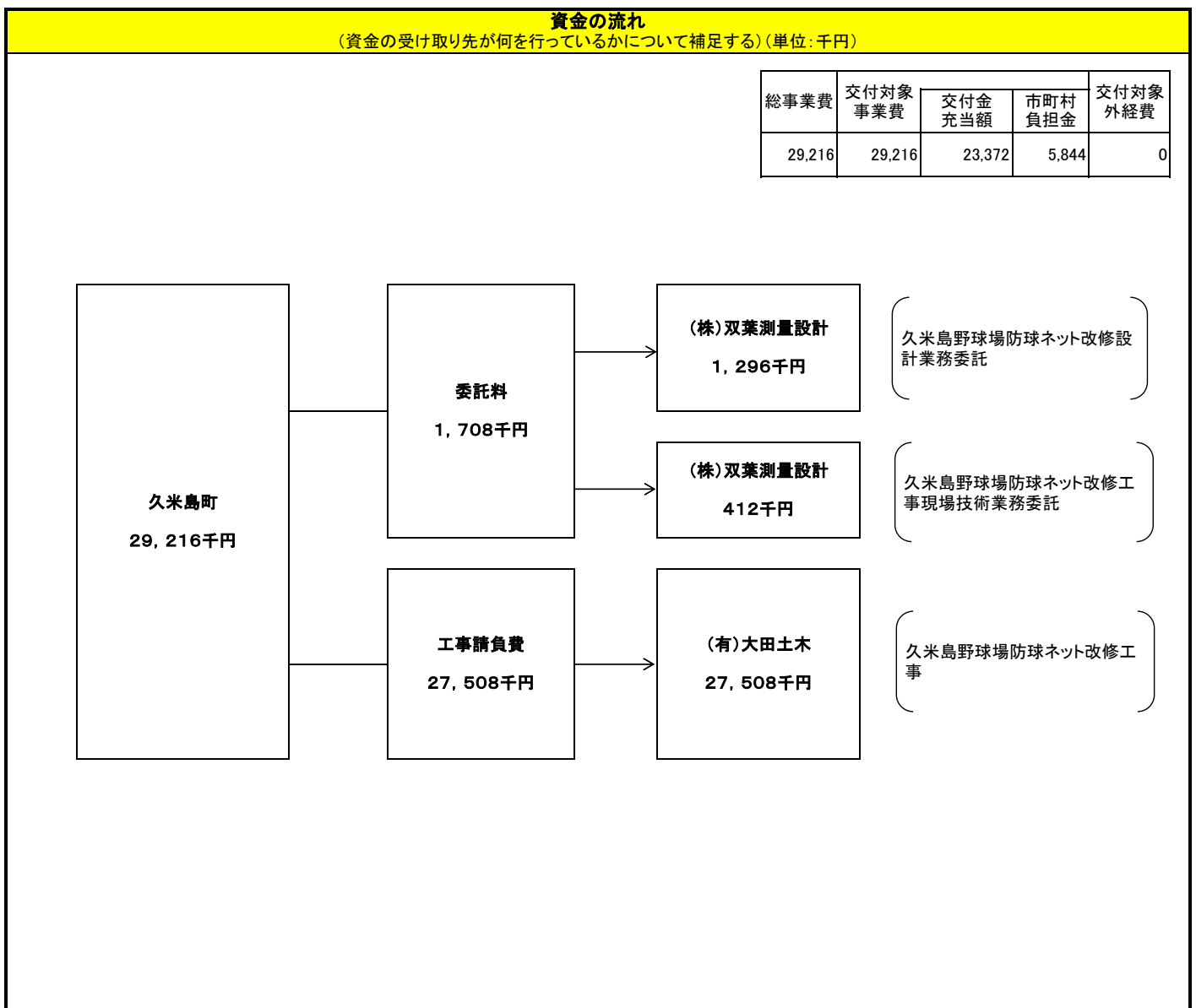
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,104	4,104	3,283	821	0



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。 ○適正な予算規模であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について確定時において支出の等に関する書類により確認、適正であった
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	スポーツコンベンション施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ア	
担当部課名	環境保全課	事業実施(予定)年度	平成24~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、久米島野球場関連施設の整備を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度(繰越)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a) 当初予算額	-	10,313			29,865
	(b) 予算現額	-	13,652			29,865	
	(c) 増減額(b-a)	-	3,339			0	
	(d) 繰越額	36,256	0			0	
	A. 計(b+d)	36,256	13,652			29,865	
	B. 執行済額	36,256	13,651			29,216	
	うち交付金充当額	29,004	10,920			23,372	
	次年度繰越額	0	0			0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			97.8%	
予算の状況の説明	事業概要、事業実施の目的、効果、成果目標等の達成状況を鑑み適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	実施設計	目標	(      )	(      )	(      )	( 実施設計の完了 )	
		実績				実施設計の完了	
	機能強化工事	目標	(      )	(      )	(      )	( 工事の完了 )	
		実績				工事の完了	
達成状況説明	・当初計画の実実施設計や現場施工・施工管理を含めすべて発注し期限内に完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
		プロ野球キャンプ実施件数	目標	(      )	(      )	(      )	( 1件 )
		実績				1件	
	スポーツ合宿招致件数	目標	(      )	(      )	(      )	( 6件 )	(      )
		実績				7件	
	進捗状況説明	・プロ野球キャンプ実施件数1件、スポーツ合宿誘致件数7件を実施し、いずれも当初の目標を達成している。					

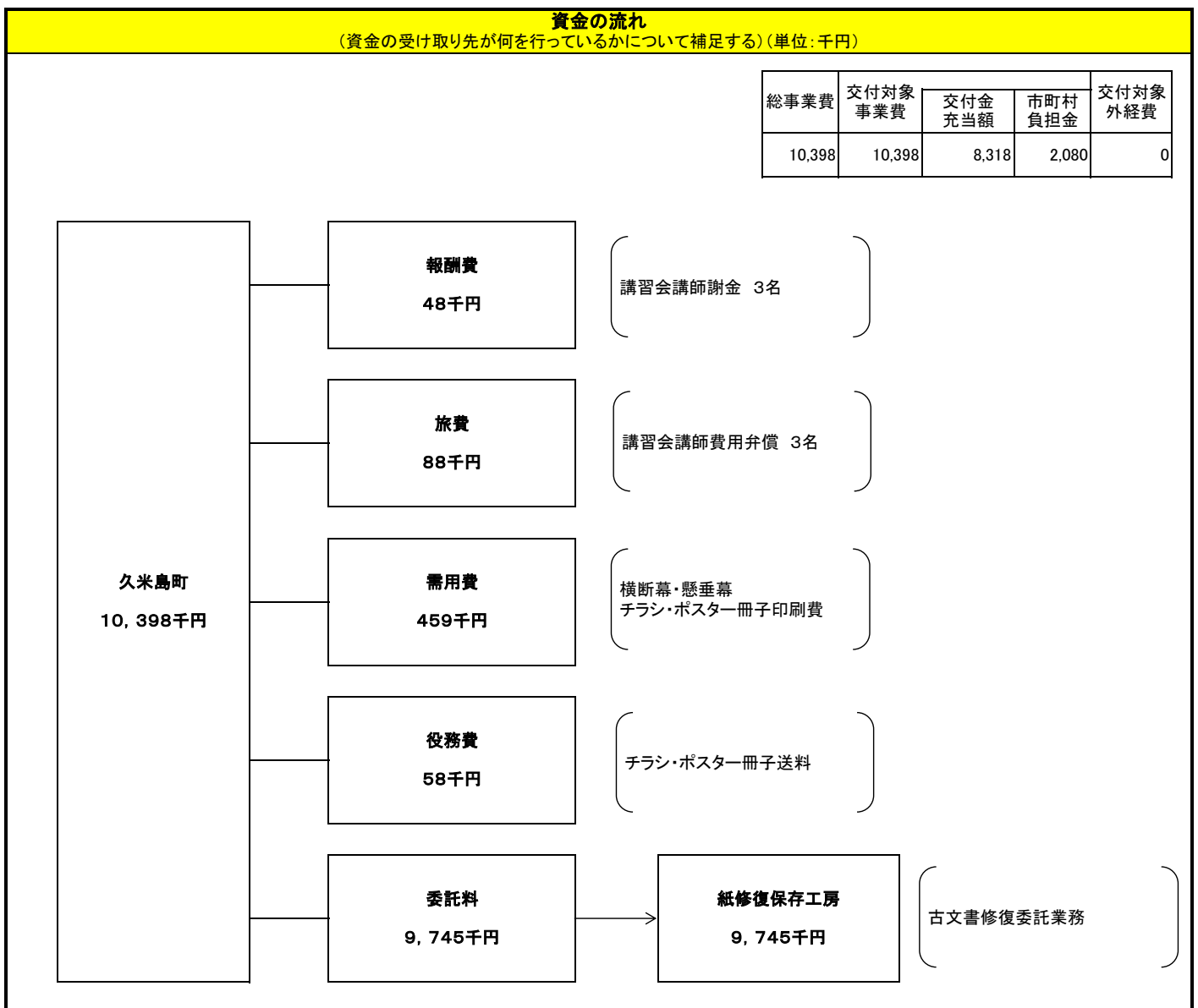
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・12月から3月にかけてプロ野球、社会人、学生等の野球キャンプ受入を行った。久米島野球場はネットが台風、潮風等の強風時の影響で破損し受入に支障が出ている。安全対策を充実させ練習に集中できる環境を整え、今後のキャンプ誘致に繋げる事が課題である。</p>	<p>・球場施設の安全性を確保することにより、継続的なキャンプ誘致に繋げる必要がある。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・今後はスポーツコンベンションの拠点施設として、維持管理を徹底すると共に施設の長寿命化を図る。</p>		



資金の流 れ、費 目、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者及び工事業者は指名競争により実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については事業目的達成の観点から、精算段階から検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	文化遺産保存活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)ア	
担当部課名	久米島博物館	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	
事業内容	本町の歴史・文化の継承を図るため、町内に残されている歴史資料の修復を行い、博物館資料として活用する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	8,124	16,519	9,744	10,050	10,000
	(b) 予算現額	7,835	15,957	9,744	9,641	10,500	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 289	▲ 562	0	▲ 409	500	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	7,835	15,957	9,744	9,641	10,500	
	B. 執行済額	7,835	15,956	9,734	9,641	10,398	
	うち交付金充当額	6,268	12,765	7,786	7,712	8,318	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	99.0%	
予算の状況の説明	展示会に併せて講演会を開催するため500千円を増額した。事業計画どおりに執行を行い適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	古文書の修復及び翻訳並びに口語訳	目標	(      )	(      )	(      )	( 修復230件 翻訳並びに口語訳30件 )	
		実績				修復230件 翻訳並びに口語訳30件	
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )		
	実績						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施により古文書資料230件の修復及び古文書資料を30件の翻刻を行い、目標数値を達成できた。</li> <li>・これまで当該事業において得られた成果品を展示した速報展を開催し、多くの観光客や町民に当該事業の成果を公開することができ、また、有識者及び関係団体と連携し、古文書資料の理解につながる充実した講演会、講座等を開催することができ、当該事業及び成果品の重要性和必要性を広く周知することができた。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
			(      )	(      )	(      )	( 400人以上 )	(      )
	修復して資料を活用した企画展の来場者数	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績				1,333人	
【参考指標】	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	
	実績						
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施により古文書資料230件の修復及び古文書資料を30件の翻刻を行い、目標数値を達成できた。</li> <li>・平成30年度に成果速報展を開催し、併せて講演会や講座を開催、また当該事業及び成果品を紹介する刊行物を作成し、町民の歴史文化意識の向上に繋がる取り組みが実施できた。</li> <li>・上記の取り組みが功を奏し、展示会、講演会の来場者は1300人を超え、目標値の3倍以上となった。また、町議会においても取り上げられ、当該事業の意義と重要性に理解頂き、良い反響を得られた。</li> </ul>						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の歴史文化、及び文化財に対する関心の向上を図るため、さらに調査研究をすすめ、町民自らが学ぶことができるよう、効果的な活用を検討していく。</li> <li>・資料の状態を把握したうえで、よりよい方法での修復事業を推進していくためにも、これまで以上に委託業者と連携を図り、事業を遂行したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果品については、適正な保存・管理に努めつつ、町民が取り組む勉強会及び展示会並びに学術利用に寄与するなど利活用を図る。</li> <li>・予定より修復に時間を要する場合は想定し、履行期間に余裕をもつ必要があり、可能な限時迅速な契約及び執行に努める。</li> </ul>
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで以上に事前準備・調査を行い、事業の進捗状況の把握と改善策を検討し着実な事業実施に努める。</li> <li>・町民の歴史文化、及び文化財に対する関心の向上を図り、博物館ロビーにおいて、ミニ展示会を開催し周知を行う。</li> </ul>		



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○古文書修復委託は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○令和3年度までに目標を達成するための必要な事業規模を算出し、事業を実施した。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		久米島町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②		久米島現代版組踊り創作事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)ア	
	担当部課名	教育委員会		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり
事業内容		中高生及び町民への歴史・文化の継承を図るため、中高生による久米島の歴史的遺産を題材とした現代版組踊の創作・実演を支援する。					Ⅲ-3-(2)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	6,639	6,962	6,500	6,169	5,009
	(b) 予算現額	6,639	6,962	6,500	7,062	5,009	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	893	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	6,639	6,962	6,500	7,062	5,009	
	B. 執行済額	6,638	6,961	6,484	6,773	5,006	
	うち交付金充当額	5,310	5,568	5,187	5,418	4,004	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.8%	95.9%	99.9%	
予算の状況の説明	3千円の不用額は公演準備に係わる消耗品の数量減によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	公演・イベント出演回数	目標	(      )	( 15回 )	( 10回 )	( 12回 )	
		実績		12回	10回	12回	
	自主開催に向けた指導者の育成	目標	(      )	(      )	( 2名 )	( 1名 )	
		実績			1名	1名	
達成状況説明	島内にて昼、夜の2回公演を開催し、島内外のイベントへ出演した。指導者の育成については、卒業生が1名稽古に携わり指導技術を学んだ。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
		参加者(演者)及び来場者へのアンケートで、歴史・文化に対して理解が深まった(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	(      )	(      )	(      )	( 80%以上 )
		実績			95%		
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
		実績					
進捗状況説明	参加者(演者)へのアンケート「久米島の歴史文化についてどう思うか」に対して「関心を持った」という回答が97%であった。来場者へのアンケート「公演について満足したか」に対して「満足した」という回答が92%であった。						

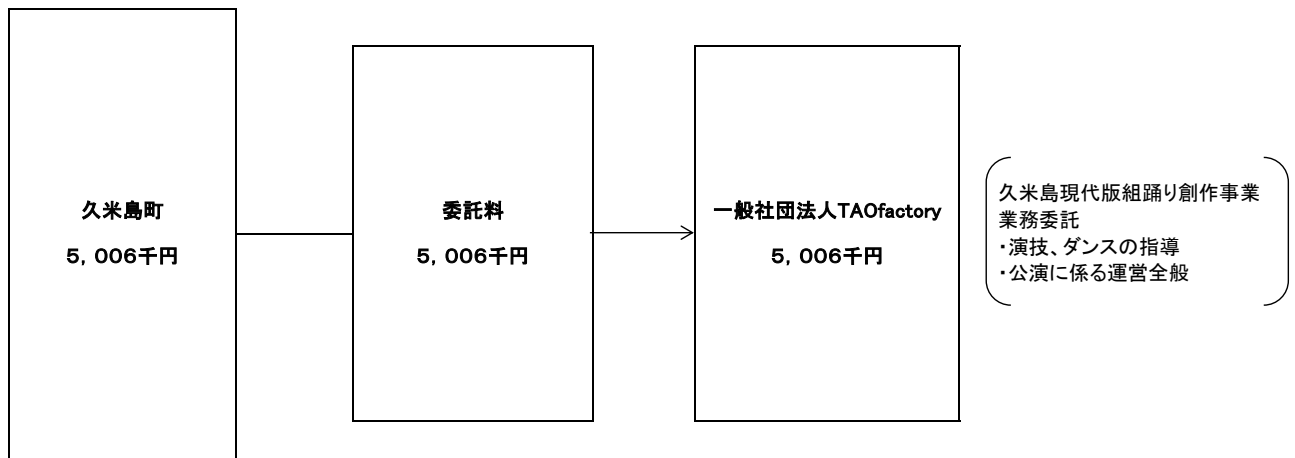
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(当事業のあり方の検証) ・公演・イベント出演回数について町主催イベントを中心に出演を行った。島外でのイベント出演も行い歴史的文化を発信することができた。 ・指導者の育成については、対象者の都合もあり稽古に参加できないことがあったため指導体制を整える必要がある。	(当事業のあり方の検証) ・参加者や来場者へのアンケートにより検証を行っているがさらなる明確な検証を行うため、来場者数をもって行う。 ・バンドメンバーの育成や指導者の育成計画を進め、島内インストラクターによる指導体制を整え、安定した舞台公演や島外公演が実現できるよう計画を立てる。

**今後の取り組み方針**

・舞台公演を行う上で必要なバンドメンバーの育成に向けた取り組みや自主開催に向けた公演の運営計画の策定を行う。  
 ・参加メンバーによる舞台以外の活動(例: 歴史勉強会、関連史跡ツアーガイド)をすることにより、歴史文化に興味を持つとともに島内外へ魅力を発信する。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,006	5,006	4,004	1,002	0



資金の流 れ、費 目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「現代版組踊り」の舞台の演技指導、演出業務ができる業者が1社のみであるため、1社見積もりとし、随意契約とした。 ○不用額は5%未満であり適正な規模であった。 ○費目、使途については、額の確定時において、実績書類により確認しており、目的に即し必要なものと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	7-①	英語指導員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)ア
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
事業内容	児童の英語への興味・関心を高めるため、外国語活動及び国際理解教育を支援する英語指導員を小学校に配置する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		(a)当初予算額	2,568	2,152	2,119	1,911
	(b)予算現額	2,120	2,152	2,119	1,911	1,800
	(c)増減額(b-a)	▲448	0	0	0	0
	(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A.計(b+d)	2,120	2,152	2,119	1,911	1,800
	B.執行済額	2,119	1,961	2,118	1,751	1,755
	うち交付金充当額	1,695	1,568	1,472	1,400	1,403
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	91.1%	100.0%	91.6%	97.5%
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	英語指導員配置数:小学校1名 小学校3年生から6年生(3,4年生120時間、5,6年生210時間)で実施する。	目標	(小学校1名)	(小学校1名)	(小学校1名)	(小学校1名)
		実績	小学校1名	小学校1名	小学校1名	小学校1名
		目標	( )	( )	( )	( )
実績						
達成状況説明	小学校3年生～小学校6年生において予定通り実施することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
		( )	( )	( )	(80%以上)	( )
	英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	( )	( )	( )	( )
		実績				85%
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )
実績						
進捗状況説明	・児童へのアンケートでは、85%が英語に対する興味・関心が高まったと回答しており、目標値の80%以上を達成することができた。					

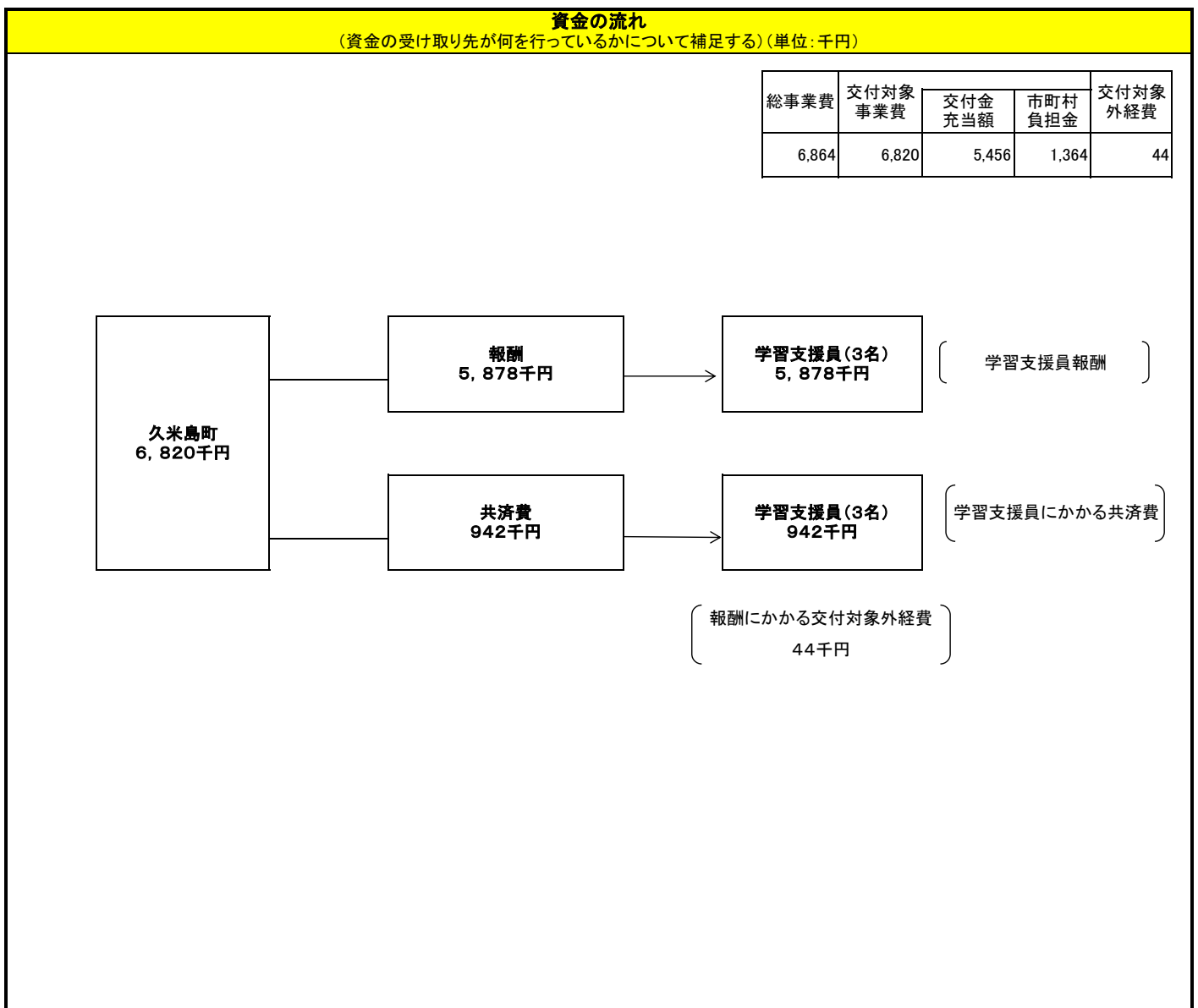
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・小学校教諭の英語力は、教諭ごとに差があり、指導員に求められる役割や指導レベルが授業ごとに大きく変化するため、指導員の対応力や効果的な授業展開が課題となる。 教諭と指導員が十分な打合せを行い、授業の工夫・改善に努める必要がある。</p>	<p>・小学校教諭と指導員間で十分に意思疎通を図り授業の工夫・改善に努める必要があるが、現在小学校6校を1人の指導員が担当しているため、指導員の負担が大きく、また、教諭と指導員の打合せの時間が十分にとることが出来ない状況である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・指導員を1人増員し、島内6小学校を2人の指導員体制で取り組んで行く。教諭と指導員の十分な打合せ時間を確保し、意思疎通を図り授業の工夫・改善に努める体制を確保していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	2,148	1,755	1,403	352	393
<pre> graph LR     A[久米島町 1,755千円] --&gt; B[報酬 1,533千円]     A --&gt; C[共済費 222千円]     B --&gt; D[英語指導員(1名) 1,533千円]     C --&gt; E[英語指導員(1名) 222千円]     D --- F[英語指導員報酬]     E --- G[英語指導員にかかる共済費]     F --- H[報酬・共済費にかかる交付対象外経費 393千円]     G --- H   </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、実施要綱に基づくものであり、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業を実施するために必要なものであり適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業実績確定時において支出等に関する書類により確認。英語指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	基礎学力向上学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学習支援員を配置し、学習未定着の児童にきめ細やかな学習支援を行うことで、学力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a)当初予算額	6,242	3,817	7,109	7,390	7,109
	(b)予算現額	3,052	4,333	7,009	6,987	7,109	
	(c)増減額(b-a)	▲ 3,190	516	▲ 100	▲ 403	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	3,052	4,333	7,009	6,987	7,109	
	B. 執行済額	3,051	4,253	6,910	6,809	6,820	
	うち交付金充当額	2,441	3,402	5,459	5,446	5,456	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	98.2%	98.6%	97.5%	95.9%	
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	基礎学力向上学習支援員配置数 (小学校3校に各1名)	目標	( 2名配置 )	( 3名配置 )	( 3名配置 )	( 3名配置 )	
		実績	2名配置	3名配置	3名配置	3名配置	
	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )		
	実績						
達成状況説明	小学校3校に学習支援員を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
			(                    )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	(                    )
	沖縄県学力達成度調査において県と本町のとの平均正答率の差県平均以上	目標	(                    )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	(                    )
		実績		4科目中3科目で県平均以下	7科目中4科目が県平均以上	7科目中5科目が県平均以上	
【参考指標】	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	
	実績						
進捗状況説明	・平成30年度県学力到達度調査で 小学校3年:国語77.2点(県平均比+8.5点)、算数78.7点(県平均比+6.7点) 小学校4年:算数71.2点(県平均比+7.9点) 小学校5年:国語45.9点(県平均比-1.3点)、算数58.8点(県平均比-1.4点)、理科59.2点(県平均比+2.7点) 小学校6年:算数64.3点(県平均比+3.1点)						

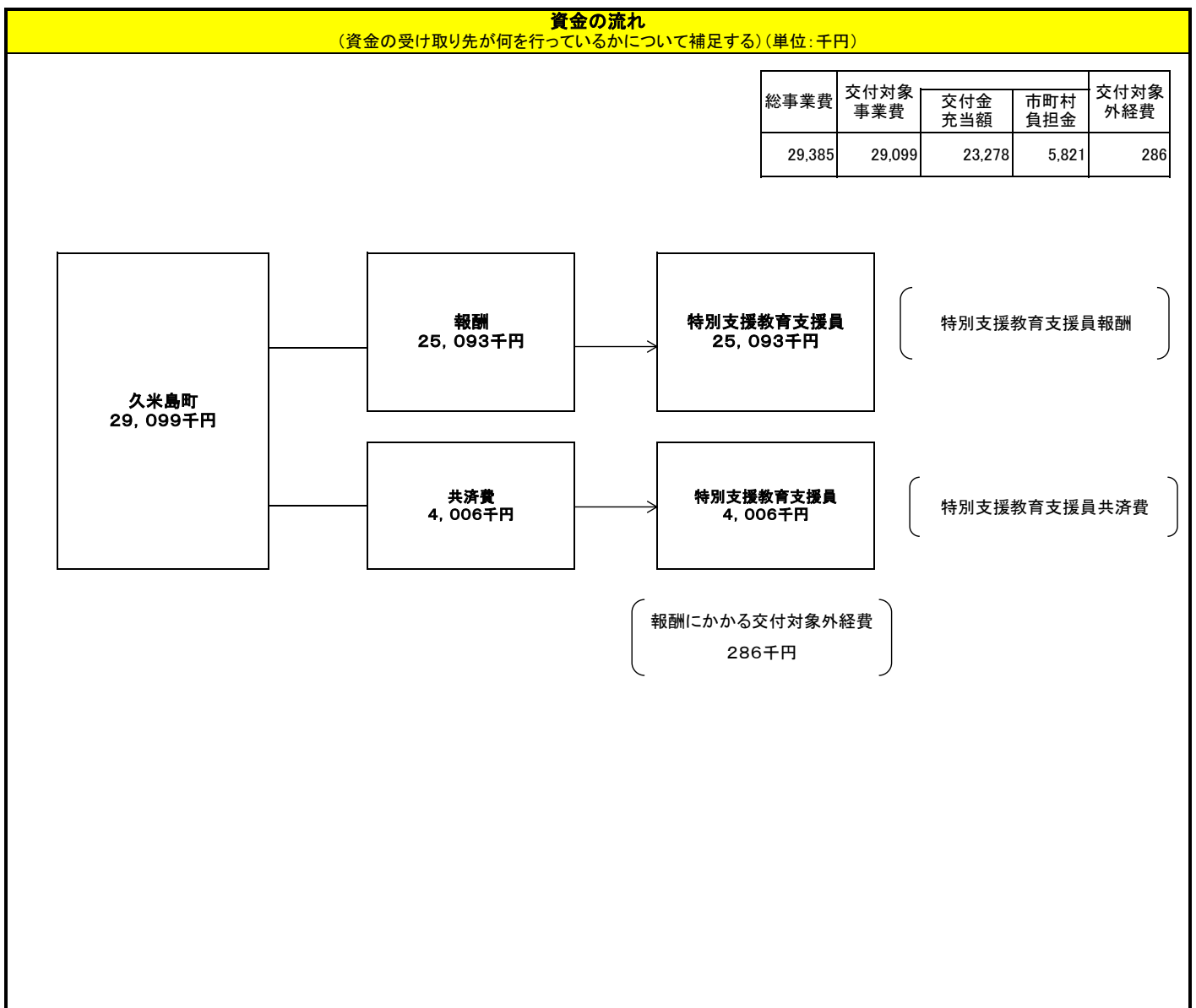
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7科目中5科目が県平均以上であった。</li> <li>・小学校5年生の国語、算数において県平均を下回った結果となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種調査の分析を行い、学級担任と支援員の連携を図り、個に応じたよりよい支援ができるようにする必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県学力到達度調査結果等を分析し理解度が低い部分の分析を行い、具体的な支援の方法について担任と指導員とで十分な検討を行い、個に応じた支援方法を常に工夫していく。また、授業だけでなく、家庭学習と連動した基礎基本の指導徹底を図り学習支援の強化していく。</li> </ul>		



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、実施要綱に基づくものであり、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業を実施するために必要なものであり適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業実績確定時において支出等に関する書類により確認。学習支援員を配置するために必要な報酬、共済費に限定し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-③	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)ウ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	
事業内容	特別に支援を要する児童の学校生活上の困難の改善を図るため、各学校に特別支援員を配置し、対象児童の学習支援や生活介助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	26,797	28,655	29,513	30,524	29,539
	(b) 予算現額	24,117	29,160	27,613	27,326	29,539	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 2,680	505	▲ 1,900	▲ 3,198	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	24,117	29,160	27,613	27,326	29,539	
	B. 執行済額	24,116	29,124	27,215	26,630	29,099	
	うち交付金充当額	19,293	23,298	21,576	21,304	23,278	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.9%	98.6%	97.5%	98.5%	
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	特別支援教育支援員配置数	目標	( 小学校11名 中学校3名 )	( 小学校12名 中学校3名 )	( 小学校12名 中学校3名 )	( 小学校11名 中学校4名 )	
		実績	小学校13名 中学校2名	小学校12名 中学校2名	小学校11名 中学校4名	小学校11名 中学校 4名	
	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )		
	実績						
達成状況説明	・小学校、中学校ともに予定どおり実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)	
		対象となる児童生徒の保護者へのアンケート(特別支援員の対応への満足度)	目標	(                    )	(                    )	( 80%以上 )	( 80%以上 )
		実績			83%	85%	
	【参考指標】	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
実績							
進捗状況説明	・特別支援員の支援を受けている児童生徒の保護者へのアンケートでは、85%が特別支援員の対応へ満足していると回答しており、目標値の80%以上を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島のため支援員となる人材の確保が課題である。</li> <li>・通常学級に在籍する児童生徒の障害の程度は個人差があり、求められる支援内容が異なるため、個々に必要な支援を行っていくためには、支援員の資質向上を図っていくことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保に向けた効果的な取り組みが必要である。</li> <li>・連絡協議会を継続して実施していくとともに、現場の課題及び資質向上につながるような研修内容を検討していく必要がある。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町ホームページや、移住者相談窓口において求人情報を提供するなど、人材確保に受けた情報発信を強化する。</li> <li>・連絡協議会等において、支援に関する課題を共有し、支援の方法等について考え、見直していくことで、支援の質の向上を図っていく。</li> </ul>		



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、実施要綱に基づくものであり、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業を実施するために必要なものであり適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業実績確定時において支出等に関する書類により確認。特別支援員を配置するために必要な朋友、共済費に限定し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		久米島町				
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	7-④	児童・生徒各種大会派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)ア
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充
事業内容	島外の人との交流や競争の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会への派遣旅費について支援を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(a) 当初予算額	4,533	7,635	7,000	7,220
	(b) 予算現額	3,533	5,335	4,735	7,220	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 1,000	▲ 2,300	▲ 2,265	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	3,533	5,335	4,735	7,220	
	B. 執行済額	3,269	5,027	4,719	6,344	
	うち交付金充当額	2,615	4,021	3,775	5,075	
	次年度繰越額	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	92.5%	94.2%	99.7%	87.9%	
予算の状況の説明	当初予算では7,220千円を見込んでいたが、派遣生徒数の減により876千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	管内中学校生徒が各種大会等へ参加(派遣)する	目標	( 派遣生徒876名 )	( 派遣生徒700名 )	( 派遣生徒700名 )	( 派遣生徒650名 )
		実績	630名参加	509名参加	472名参加	611名参加
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
実績						
達成状況説明	目標派遣人数にはわずかに届かなかったものの、64回の各種大会へ611名派遣した。部員数は減少傾向にあるものの、県大会以上への出場もあり、前年度より予算の執行額及び派遣延べ人数は増加した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
		派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答割合80%以上を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	(                    )	(                    )	(                    )	( 80%以上 )
	【参考指標】	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績				86%
	進捗状況説明	アンケート回答数137名中118名の保護者が「島内ではできない経験となった」と感じている。→対外試合の経験に乏しい児童・生徒が補助金を利用し大会に参加することで、多くの経験をする事ができるという回答が多く見られる。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部員数の減少により、種目によっては1校での参加が困難で、2校合同でチームを編成して参加したり、場合によっては参加できなかったりする。</li> <li>・同一生徒が複数の部活動(大会)に参加した場合、補助があっても自己負担額は増加する。</li> <li>・団体での派遣に際し、航空券や宿泊所の手配に苦慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の目的を鑑み、生徒数が減少しても引き続き派遣を支援する必要がある。また、派遣対象の拡大も検討する必要がある。</li> <li>・同一生徒の連続した派遣に際し、自己負担額が過大とならないような補助のあり方を検討する必要がある。</li> <li>・各種大会の日程や開催会場等の公表を速やかに行ってもらおう。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数は減少の傾向にあっても、活動が制約されないようにフォローするためにも本事業は継続し、派遣対象を個人競技や文化活動へも拡大できるよう検討する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→各部活動の大会年間計画・各種コンクール(コンテスト)等の日程等を提出してもらい、派遣対象大会等の拡大を検討する。</li> </ul> </li> <li>・個人負担の実情を精査し、補助額の見直しを検討する(経済的理由で大会参加を断念することのないように支援できないか検討が必要)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→同一生徒の連続派遣や世帯別個人負担(兄弟で派遣等)の実情を把握するためにアンケートを行う。</li> </ul> </li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,344	6,344	5,075	1,269	0

久米島町

6,344千円

補助金

6,344千円

学校

6,344千円

保護者

6,344千円

**【補助内容】**

- ・生徒1名に航空チケット代5,000円、宿泊費上限3,000円/1泊
- ・同一大会2回目(決勝や順延・他地区代表)派遣の場合生徒1名に航空チケット代全額、宿泊費上限5,000円/1泊

資金の流れの点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支出先は町内各中学校校長としており妥当である。</li> <li>○補助対象である大会等、参加人数を審査し適正な予算規模となっている。</li> <li>○派遣先から補助が出る者については本事業の対象外としており、自己負担額も発生しているため、受益者には応分の負担をさせている。</li> <li>○費目・用途については実績報告で審査しており、真に必要なものと判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
<b>平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	7-⑤	ICTを活用した家庭学習支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成29~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	学校外において、沖縄本島や本土と同等の学習環境を整備することで、学力の向上を図るため、ICTを活用した学習塾を2拠点に置きWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b>		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
		(a) 当初予算額	16,800	16,800			
		(b) 予算現額	14,620	16,800			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,180	0			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	14,620	16,800			
		B. 執行済額	14,506	16,178			
		うち交付金充当額	11,604	12,942			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	99.2%	96.3%			
予算の状況の説明	活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	
		ICTを活用した町営学習塾の開設	目標 (      )	(      )	(      )	(      )	
		実績	町営学習塾の開設	町営学習塾の開設			
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )		
	実績						
達成状況説明	公営学習塾が開設でき、放課後、児童生徒が学びに向かう環境づくりができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	H31年度	目標値(年度)
			目標	(      )	小学校:-35ポイント以内 中学校:-33ポイント以内	小学校:-35ポイント以内 中学校:-33ポイント以内	(      )
	実績		小学校-5.6 中学校-14.8	小学校-10.84 中学校-24.46			
	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )	
	実績						
	進捗状況説明	・テスト結果において、小学校では全国平均を上回る科目もあり、確実に全国との差が縮んできている。 ・中学校では、受験した生徒間で習熟度の差が見られる傾向があったが、目標値は達成できた。 ・参加した児童生徒にとって、授業や講師との交流を通して学びのヒント、家庭学習の取組の大切さ等が実感できたと考えられる。					

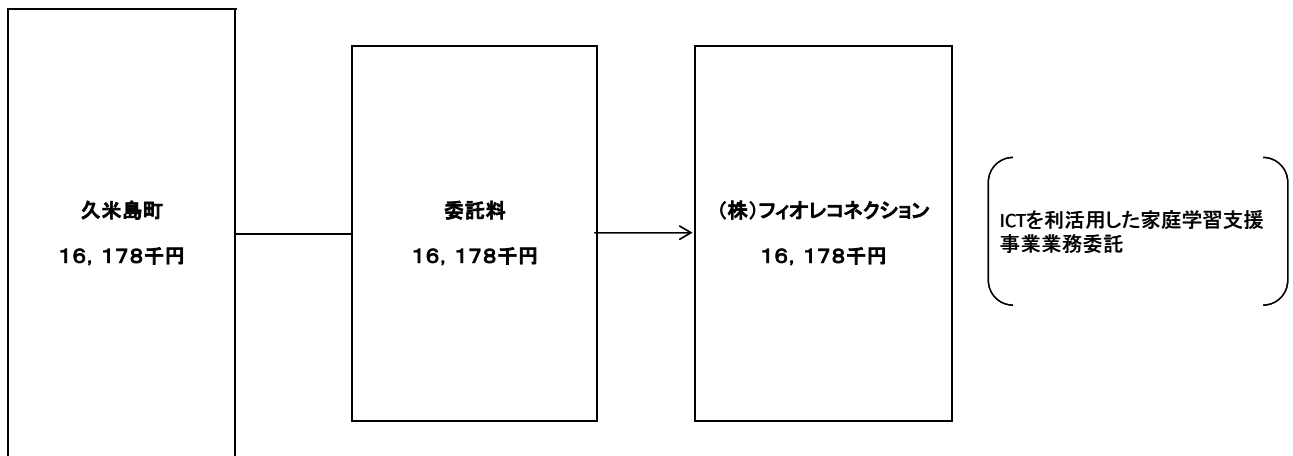
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の授業を捕捉する授業内容を展開したことで、生徒からの満足度の高い授業の実施ができた。</li> <li>・前年度の反省から開講当初より全学年で積極的に習熟別クラス分けを行った結果、生徒一人一人の課題と向き合う指導ができたので、継続していくことで成果を上げていくことができると考える。</li> <li>・成果目標としているテストを通年通して全て受験する生徒の割合が低いのが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師と現場支援員だけでなく保護者とも連携し、家庭学習のあり方について考え、取り組むことで更なる向上が見込める。</li> <li>・児童生徒一人一人が受講の成果を確認するため、また実施者として正しく成果評価を行うためにも、通年を通してのテスト受験率を高めていく必要がある。</li> <li>・参加率を高めるため、また授業参加のモチベーションを上昇させる試みを行っていく必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・本事業は30年度で終了するが、児童生徒の家庭学習の支援に取り組むとともに、教育の情報化推進に向けて、指導主事と連携し授業改善の指導・助言を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
16,178	16,178	12,942	3,236	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、募集広告したが、1社しか応募がなかったため、企画選定委員会による決定としたので妥当と考える。 ○授業回数を考えると見合った規模であると考え。 ○教材費は負担してもらっているため妥当と考える。 ○使途については、検査を実施しており必要であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	